

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

国 語

東 京 書 籍

学 校 図 書

教 育 出 版

光 村 図 書

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい国語）
1 教科の目標からの配慮	・ 単元ごとの学習の重点を「言葉の力」として明示し、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が明確になるようよく工夫されている。 ・ 巻頭に当該学年で学習する「言葉の力」を示し、巻末で学習した「言葉の力」を振り返ることで、身に付けてきた知識・技能が確かめられるようよく工夫されている。 ・ 「生かそう」の欄を設定し、各単元で学んだことを他教科や日常生活で活用できるようよく工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 児童の発達段階に応じた文章の長さ、分量、難易の程度で、適切な題材を取り上げ、領域ごとのバランスも十分に配慮されている。 (2) 児童の関心、他教科との関連、各種教育課題への対応などを踏まえつつ、多様な題材・話題を取り上げて単元を配列しており、国語の資質・能力を育成する教材選定の配慮がされている。 (3) 児童が自ら課題意識をもって学習を進められるように、各学年の巻頭に「国語学習の進め方」を設定したり、「話し合う」・「伝え合う」の言語活動を意図的に取り入れたりするなど、主体的・対話的な学習を促すようよく工夫されている。 (4) 手書き硬筆文字の字形に準拠し、文字指導に適した字体を用いたり、2年生の下巻まで文節ごとの分かち書きを用いたり、読む教材では行を見つけ易いよう1行ごとにドットを付けたりするなど、ユニバーサルデザインを意識した配慮が十分になされている。 (5) シンプルな色使いや色分けで大事な部分にすぐ目が向くようにしたり、さし絵や記号を適切に提示したりすることによって、児童の内容理解や多様な思考を助けるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「1単元1領域」を原則に、指導事項を重点的に絞って言語活動を設定し、具体的な活動事例を随時示しながら単元を系統的に配列するよう十分に配慮されている。 (2) 各単元の扉に「覚えているかな」の見出しを設け、単元の学習に必要な既習事項を想起することができるようにするなど、単元相互の関連性や連続性が十分に図られている。 (3) 単元導入部の「つかむ」で見通しをもって学習を進め、終末部の「ふり返る」で常に「言葉の力」が身に付いたかを自覚できるようにするなど、言葉による見方・考え方を働かせて学習できるよう十分に配慮されている。 (4) 語句や漢字の学習では「ことばあつめ」「言葉の練習」「漢字の練習」のページを随所に設定したり、巻末に「学習で使う言葉」「言葉の広場」のページを設定したりして、学年に応じた知識及び技能が系統化されるよう十分に配慮されている。 (5) デジタル資料や内容にかかわる説明の写真、児童キャラクターの吹き出し等を随所に掲載し、内容理解の一助となるよう配慮されている。 (6) 単元末に「ふり返る」と「言葉の力」を併記し、振り返りの観点に沿って身に付いた「言葉の力」が確認できるよう十分に配慮されている。
4 全体的な特色	・ 文章や対象を比較する思考を働かせながら言語活動を行い、学習を進めていく単元を、意図的、系統的に配列するようよく工夫されている。 ・ 「国語のノートの作り方」をはじめ、メモ、カード等を随所に例示し、思考を広げたり整理したりするのに役立てるようよく工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ 小学校 国語）
1 教科の目標からの配慮	・ どの学年も領域ごとに単元がバランスよく配置され、多様な言語活動を展開しながら学習を進めることができるようよく工夫されている。 ・ 各単元の目標が整理され、単元で身に付ける力の重点などを「国語のカギ」として明示し、巻末の「国語のカギ」一覧や用語解説のページで付ける力の定着を図ることができるようよく工夫されている。 ・ 付ける力や言語活動を焦点化した小教材を適所に配置しており、他の単元や日常生活で活用が図れるようよく工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 文章の長さや分量、難易の程度は、児童の発達段階が考慮され、適切な話題・題材で無理なく学習を進められるよう十分に配慮されている。 (2) 1年生の入門期では動物の顔で指定するとページが開けられるなど、児童の発達段階を踏まえながら、思考力やコミュニケーション力を伸ばす教材が大変適切に配置されている。 (3) 「話す・聞く」「書く」単元では「学習の見通しをもとう」、「読む」単元では「学習のてびき」を示し、見通しをもって学習できるようにすると共に、対話的な学習場面を多く取り入れて、対話を通して協働的に学べるようよく工夫されている。 (4) 独自の教科書体を用いたり、「書く」学習では手書き風の文字の文章を取り入れたり、行間や写真と文字との空きを十分に取ったりするなど、学年に応じたレイアウトの配慮がされている。 (5) ユニバーサルデザインを意識し、配色をシンプルにしたり、大切なポイントを四角で囲ったりするなどの配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 各領域のバランスを考慮しながら各学年のほぼ同時期に同領域の単元を配置しており、系統的に学習が積み上がるよう十分に配慮されている。 (2) 巻頭の「つけたい力」の一覧で付ける力を確認しながら、学年前半で基礎的な技能の習得を目指し、後半でその技能を生かした発展・応用を目指すよう、単元相互の関連が図られている。 (3) 児童の日常生活に根ざした言語活動を多く取り上げ、関心をもって学習できるようにしたり、他教科の学習と連携が可能な単元を配置したりして、主体的に取り組めるよう配慮されている。 (4) 語句や漢字、語法や文法などは、「言葉のいずみ」、「言葉のきまり」などの演習型の小教材を適宜設定して、段階的に学習を進めたり取り立てて指導をしたりすることができるよう十分に配慮されている。 (5) 話題や題材についてイメージや思考を広げられるさし絵や写真が掲載され、デジタル資料も随所に記載されており、言語活動に結びつけながら有効に活用できるよう工夫されている。 (6) 単元で付ける力を「学習のめあて」に明示して、振り返りでは「学習のめあて」に沿って自分の言葉で学習をまとめることができるようよく工夫されている。
4 全体的な特色	・ 言語活動を通して課題解決をしていく児童を育むために、学習のプロセスを分かりやすく示し、思考力やコミュニケーション力を高めていくよう工夫されている。 ・ 学習用語の解説や参考資料を充実させたり、言語事項の小教材を適宜配置したりするなど、児童が基礎的基本的な言葉の技能を身に付けられるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	教育出版（ひろがる言葉 小学国語）
1 教科の目標からの配慮	・ 巻頭の「学年で学ぶこと」と学年末の「これまでこれから」のページにより、国語科の目標に照らし合わせた学習の見通しをもったり、ふり返りをしたりできるようよく工夫されている。 ・ 単元で身に付ける力を「ここが大事」として明示し、思考力、判断力、表現力とそれを支える知識及び技能が有機的に結合された教材を適切に配置して、付ける力が定着するようよく工夫されている。 ・ 児童の日常生活に根ざした言語活動例を示し、学んだ知識・技能が、日常生活の場面で生きて働く力となるようよく工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 児童の発達段階に応じて文章の長さ、分量、難易の程度が考慮され、各学校のカリキュラム・マネジメントに対応できるよう、柔軟に扱える教材も適切に選択され、児童が無理なく学習できるよう十分に配慮されている。 (2) 児童の日常生活や他教科への広がりを用意した教材、今日的な課題を反映した教材を配置するなど、学習の関心・意欲を喚起する教材が適切に配置されている。 (3) 課題把握や単元のまとめのページに親しみのもてるキャラクターを登場させて思考の深まりを促したり、「本を読もう」のページで多くの本を紹介して読書の意欲を高めたりするなど、児童が主体的・対話的に学習が進められるようよく工夫されている。 (4) 文字の大きさ・行間・字間をはじめ、フォントにも新しい教科書体を使用するなど、ユニバーサルデザインを意識した配慮がなされている。 (5) 「読む」教材で文章の読み取りがスムーズにできるよう段落ごとに写真を配置するなど、安心・安定を意識した色使いの図表、写真、さし絵を随所に掲載し、児童が学習内容を端的に把握したり思考を深めたりすることができるよう十分に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、 個に応じた指導、 他者との協働、 まとめと評価	(1) 児童の発達段階に沿って言葉の力を育成できるように、単元を系統的に配列する配慮がなされている。 (2) 年間の学ぶ過程をいつでも確認できるよう当該学年の「学ぶこと」をイラストで上巻・下巻の巻頭に示すなど、児童の発達段階に沿って単元相互の関連性や連続性が図られている。 (3) 各領域の言語活動が十分に行われるよう、単元の目標や児童の関心を考慮しつつ「読む」「書く」など複数の領域を組み合わせた単元を設定し、児童が探究的・協働的に学習を進められるよう十分に配慮されている。 (4) 語彙を豊かにするために、単元末に「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」、巻末に「言葉の木」「言葉のまとめ」のページを設けたり、日本の伝統的な言語文化を学ぶ教材を配置したりするなど、知識及び技能が系統的に身に付けられるよう十分に配慮されている。 (5) さし絵・写真・参考作品などは、児童が思考やイメージを広げやすいよう、印象的でかつ分かりやすいものが選択されており、図や写真を活用して言語活動を展開できるよう十分に配慮されている。 (6) 各単元に「ここが大事」や「ふり返ろう」を設定し、まとめや評価の観点を明確にして自己評価ができるようよく工夫されている。
4 全体的な特色	・ 各単元の「てびき」では、親しみやすいキャラクターの吹き出しなどで学習過程を明確にし、主体的・対話的な学びを促す工夫がされている。 ・ 付箋やカード、ノートを使い方などが多く例示され、思考を整理したり、まとめたり、可視化したりしながら言語活動が行えるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書（国語）
1 教科の目標からの配慮	- 各単元の冒頭に単元の目標や言語活動が明記され、児童が目的と見通しをもって学習に取り組めるようよく工夫されている。 - 単元で身に付ける力を「たいせつ」として明示し、巻末には「『たいせつ』のまとめ」を設け、付ける力が定着するようよく工夫されている。 - 各単元末に「いかそう」を設け、単元で学んだことを確認しながら他教科や日常生活に汎用的に活用できるようよく工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 児童の発達段階に応じた文章の長さや分量、難易の程度が考慮され、各領域にわたって適切な話題・題材を取り上げて無理なく学習を進められるよう十分に配慮されている。 - 学校生活や他教科と関連した教材や、学年の発達段階に応じた適切な教材を選定したり、読書単元や関連図書の紹介を配置したりすることで、学習への関心・意欲を喚起する配慮が十分になされている。 「見通しをもとう」や「学習の進め方」を示して、見通しをもって学習に取り組める配慮がされ、さらに、例話やイラスト等で具体的な学び方のヒントを示すなどして、主体的・対話的な学びが行われるようよく工夫されている。 - 手書き文字に近い教科書体を使用し、低学年には通常より太い書体、見出し、注目させたい箇所、小さい文字にはUD書体を使用するなど、発達段階や見やすさ・分かりやすさに応じた配慮が十分になされている。 - さし絵や写真、表、マップ等を適所に配し、内容理解や、考えの形成とまとめのツールとして活用できるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 児童の発達段階と学習の持続性を考慮しながら、学年に応じた付ける力が定着するように系統化し、段階的な指導ができるよう十分に配慮されている。 - 巻頭の「学びを見わたそう」により、既習事項の確認やふり返りができるようにするなど、単元相互の関連性や連続性が十分に図られている。 - 各領域にわたって、自分の考えを形成して他者と共有したり広げたりすることができる単元が設けられ、探求的に関わり合いながら学ぶ過程や言語活動の型を学習の手引きに示すなど、主体的・協働的な学びができるよう十分に配慮されている。 「言葉の使い方」や「受けつがれる言葉」で語句や漢字、季節の言葉や伝統的な言語文化を繰り返し学習でき、巻末の「言葉の宝箱」で語彙を広げて思考や表現に活用できるようにするなど、知識や技能が系統的に習得されるよう配慮されている。 - 非連続テキストとして、ポスターやパンフレット、グラフそのものを読む学習活動を位置付けるなど、さし絵や写真、図表等を活用した学習の展開やデジタル資料の活用について十分な配慮がなされている。 - 単元末の「ふりかえろう」には、単元の目標に沿って3観点の評価に対応した項目が示されており、観点を明確にして学びを振り返ることができるようよく工夫されている。
4 全体的な特色	- 単元の学習の手引きを上下二段構造にし、上段には学習過程に沿う課題を設け、下段には課題に取り組む視点や言語活動例を示すなど、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための配慮が十分になされている。 - 学習指導要領に沿った「情報」の教材や、対面の口頭表現に特化したコミュニケーションコラムを新設して系統・系列化し、国語の学習で付けた力を他教科や日常生活に広く活用していけるようよく工夫されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

書 写

東 京 書 籍

学 校 図 書

教 育 出 版

光 村 図 書

日 本 文 教 出 版

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい書写）
1 教科の目標からの配慮	「書写のかぎ」を設け、正しく整った文字を書くために必要な知識・技能を系統的に整理し、学年の発達段階を踏まえた課題解決型の学習が行えるよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 書写で学習する要素について、硬筆・毛筆の関連を図りながら、簡単な点画から学び、発達段階に応じて無理のない分量となるよう十分に配慮されている。 (2) 「生活に広げよう」で国語教科用図書の題材や他教科との関連を図るとともに、「文字のいずみ」で伝統的な言語文化に関する文章をなぞり書きできるようにするなど、文字文化に目が向くよう十分に配慮されている。 (3) 「書写の学び方」、「見つけよう」、「書写のかぎ」の空欄などを設け、児童自らが文字に対する見方・考え方を働かせて、必要な技能が確実に身に付くよう配慮されている。 (4) 左利き児童の鉛筆の持ち方を示したり、左右どちらのマスにも写し書きができる欄を設けたりするなど、すべての児童への配慮がされ、姿勢や用具の持ち方について1年生は実物大の絵で手の位置を示すなど、写真やさし絵を効果的に用いて大事な点を示すようよく工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 入門段階を丁寧に扱い、基礎・基本を重視して「点画」「筆順」など大切な用語をおさえながら簡単な点画から学習するようしており、文字の配列に十分な配慮がされている。 (2) 毛筆で学習した内容が硬筆に生かせるよう考慮され、巻末の漢字表に当該学年の1学年下の漢字を示すなど、既習事項を生かして学習できるよう配慮されている。 (3) 手紙やポスター、リーフレットなど、手書き文字のよさが生きる教材が配置され、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」を位置付け、どのように学ぶかを明確にして、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。 (4) 文意を理解しやすいように文節で改行したり、点画の種類や筆使い、穂先の動きと点画のつながりを朱墨や濃淡色の墨で示したりするなど、視覚的に理解できるよう工夫されている。 (5) 「書写のかぎ」の観点について「ふり返って話そう」の項目が位置付けられ、対話を通して学びの振り返りができるようよく工夫されている。
4 全体的な特色	- 学習内容を一覧にしたインデックスが設けられており、当該単元の重点学習事項が一目で分かるよう工夫されている。 - 教科書をA B版のワイド仕様にし、図版を大きくして資料性を高めたり、書き込み欄を充実させて練習帳の機能を持たせたりするなど、教科書が実用的に使えるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	学校図書（みんなと学ぶ 小学校書写）
1 教科の目標からの配慮	・ 「学習の進め方」を「たしかめて」「考えて」「生かして」の3段階に区切った学習場面で構成し、「学び方」を意識しながら書写の学習に主体的・対話的に取り組めるよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 児童の発達段階や習得語彙などを考慮して文字を選び、点画や筆順のポイントをおさえながら、平仮名、カタカナ、漢字を無理なく学習できるよう配慮されている。 (2) 筆や墨、和紙の製造法や、文字の成り立ち等を扱ったコラムを掲載したり、現代まで伝承される詩歌や古典の教材を掲載したりするなど、文字文化に目が向くような配慮がされている。 (3) 「考えて書こう」の場面で、試し書きを元に自分で考えたり対話や交流をしたりしてどう直すかを考えて取り組むよう配慮されている。 (4) 毛筆の手本を原寸大で掲載して実際の大きさや線の太さをイメージしやすくしたり、「たしかめて」「考えて」「生かして」の3段階を色分けして示したり、写真とイラスト、囲み文字の色が鮮明になるよう配置したりするなど、手本の大きさや写真や配色が十分に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、 個に応じた指導、 他者との協働、 まとめと評価	(1) 書写の原則・原理をとらえやすい文字を段階的に配列し、各学年の指導事項が焦点的に身に付けられるよう工夫されている。 (2) 1・2年の巻頭に「しせいとえんぴつのもち方」、3～6年生の巻頭に「毛筆学習のはじめに」を掲載し、基礎的な内容を確認できるようにしたり、「前年度に学習したこと」を生かして書くページで前学年での既習事項を意識しながら学習できるようにしたりするなど、学年間の関連が十分に配慮されている。 (3) 学んだ技能を日常の硬筆に生かす姿勢が貫かれ、巻末の「書写の資料館」を充実させて、日常生活や他教科に学んだ技能が活用できるように工夫されている。 (4) 運筆のデジタル資料が用意され、運筆の様子を示す際には穂先を朱墨で目立たせて分かりやすくするなど、視覚的な指導が行えるよう配慮されている。 (5) 単元のふり返りで、本時の学習を生かして硬筆で書く欄を設けたり、巻末に既習した観点を生かして書き込む「学年のまとめ」を設けたりして、学んだことが確かめられるよう十分に配慮されている。
4 全体的な特色	・ 3つの学習段階を色分けして示すなど、課題解決の過程を意識しながら整った読みやすい文字を書く技能が習得できるよう配慮されている。 ・ ふり返りでは、硬筆で教科書に直接記入して場面や目的を意識した表現を体験できるようにするなど、日常生活で文字を書くことが常に意識されるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（小学書写）
1 教科の目標からの配慮	書写の「原則・原理」に従って、学年の発達段階に合わせた教材が系統的・段階的に配列され、さらに、学習した内容が日常の様々な場面で活用できるよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	(1) ひらがな・カタカナ・漢字の字形や分量は、学年の発達段階に応じて適切に配置され、無理なく学習できるよう十分に配慮されている。 (2) 児童の文字環境を豊かにするために、文字の成り立ち、日本の伝統と文化などを取り上げ、文字や言語文化への興味・関心が高まるよう十分に配慮されている。 (3) 全学年に「学習の進め方」が収録され、書字例や活動写真例が豊富に紹介されたり、低学年ではイラストの動物で終筆の筆運びをイメージしやすくしたりするなど、児童の気づきを大切にした明確な課題のもと、学習に取り組めるよう十分に配慮されている。 (4) グリーンを基調とした落ち着いた紙面構成とともに、すべての児童に見やすいカラーユニバーサルデザインが採用され、児童が学びやすいよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、 個に応じた指導、 他者との協働、 まとめと評価）	(1) 点画・筆順・文字の大きさ・書体ともに、学年の発達段階に応じて学習できるよう配慮されている。 (2) 学習のめあてには、当該学年で学習することと、前学年までに学習してきたことがまとめられており、学習すべき技能が、学年間の関連からも分かりやすく理解できるよう十分に配慮されている。 (3) 全学年に手紙やはがきの書き方が具体的に収録され、また、「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」「知りたい文字の世界」などのページでは、習得した書く力を日常生活に活用する場面が紹介されており、児童の主体的な学習を促すよう十分に配慮されている。 (4) 児童が自分の課題を発見し、課題解決の方法を考えながら学習を進められるよう、写真や図表が豊富に掲載されており、指導に生かせるようよく工夫されている。 (5) 各単元には「ふり返ろう」の欄、学年末のまとめの単元には「もう一度確かめよう」の欄を設け、「何ができるようになったか」が確かめられるようになっており、学習してきた内容について振り返りができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	- 全学年「とん・すうっ・ぴたっ」などの共通な音声で運筆を表したり、朱墨と薄墨により穂先の通り道を明快に示した図版を掲載したりすることで、硬筆・毛筆の基礎的な技能を分かりやすく習得できるよう十分に配慮されている。 - 書写作品を互いに見合う場面を設定したり、「よい姿勢」「鉛筆の持ち方」を全学年に掲載したりするなど、書くことにおける学習習慣と学び方の形成全般を支える配慮が十分にされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	光村図書（書写）
1 教科の目標からの配慮	課題発見から解決までの過程を通して、文字の整え方を主体的に学ぶ課題解決型の教材を構成し、段階的・系統的に配列して、身に付けた力を他教科や日常生活に生かせるよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 児童の発達段階に応じて、仮名や漢字の構成、点画、筆順、字形についてポイントを焦点的に示した教材を段階的・系統的に配置し、スモールステップで探究的に学べるよう十分に配慮されている。 - 漢字の成り立ちを系統的に配置したり、国語との関連教材をはじめ、手紙やはがき、新聞やポスターの書き方を示したりして、文字そのものや書くことに対する興味・関心を高めるよう配慮されている。 - 単元の冒頭に「考えよう」「どうなっているのだろう」など、問題を提示する形でめあてを示し、2種類の例を比較して文字のバランスや形の違いを考えるようにするなど、主体的な学習が行われるよう十分に配慮されている。 - 教材を見開き1ページの構成にして、シンプルで見やすい紙面にし、大事なことは大きく表示したり、見出しにユニバーサルデザイン書体を用いたりして、読みやすさ、分かりやすさが十分に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、 個に応じた指導、 他者との協働、 まとめと評価	- 学年の発達段階に応じて画数、筆順、字形、書体を考慮しながら単元を配列し、習得と活用を繰り返しながら無理なく書写の基本的な力が身に付けられるよう十分に配慮されている。 - 各単元とも「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」の3段階を踏み、基本的な技能が分かりやすく示され、学んだことが確認できるよう配慮されている。 - 課題解決型の学習を行う中で、対話的な学習が位置づけられており、学んだことを他教科や日常生活、家庭や地域と結びつけて生かせるよう十分に配慮されている。 - 学習の進め方をイラストや写真で示し、学習の流れが一目で分かるようにしたり、デジタル教材で筆使いや書く速さを示したりするなど、視覚的な資料が指導に役立てられるようよく工夫されている。 - 各単元の「ふり返ろう」で、単元の課題について自己評価できるようにするとともに、各単元の「たいせつ」と、巻末の「たいせつのまとめ」で、当該学年で学ぶ技能の要点を確かめることができるよう十分に配慮されている。
4 全体的な特色	- 国語科や他教科との関連や、家庭や地域との連携が考えられるなど、学んだことを生かせる配慮が十分されている。 - 課題解決型学習を通して、対話的に学ぶことができるようにしたり、写真やイラストで学習の要点を簡潔に示したりするなど、児童が見通しをもって主体的に学習できるようよく工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（小学書写）
1 教科の目標からの配慮	新学習指導要領の生きる力を重視し、文字を正しく整えて書くための基礎・基本の定着、自ら考えて書く力の育成、日常に生かす応用力の育成を目指しており、書写の学習を通じて、「言葉の力」を育むことを意図した段階的な単元を構成するよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 文字や書くことに興味をもつことから正しく美しい文字を習得することへと、発達段階に応じた単元を配列するよう配慮されている。 - 文字の文化や歴史、書写の活用の仕方を紹介するコーナーが設けられ、文字文化や文字を書くことへの興味関心を高めて日常生活に生かそうとする態度を養う配慮が十分されている。 - 単元の始めに「考える」で学習の課題を見つけたり、学年末の「学習をいかして」で既習の振り返りから新たな課題に取り組めるようにしたりするなど、気付きを生かして学習するよう配慮されている。 - 習字用具の使い方、置き方、片付け方、姿勢などを写真や合言葉を用いて表わしたり、指や顔のイラスト、墨の色、補助線等で、運筆を表現したりするなど、視覚的に分かりやすくする配慮が十分にされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、 「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、 関連性・連続性、 個に応じた指導、 他者との協働、 まとめと評価	- 児童の発達段階を考慮して、画数が少なめでバランスのとりやすい文字から配列し、無理なく学習に取り組める配慮がされている。 - 巻頭に前学年の学習を振り返る欄と「書写学習の進め方」を掲載し、既習事項を踏まえながら学習に取り組めるよう配慮されている。 - 年賀状や手紙の書き方、学級新聞の書き方など、生活に役立ち、児童が主体的に取り組める題材が各学年に用意され、書写の学習が日常生活に生かされるよう配慮されている。 - 穂先の顔のイラストで穂先の向きや筆圧が表現され、トン、スー、ピタッという言葉で運筆が表現されており、児童の感覚に寄り添った指導が行えるようよく工夫されている。 - 各単元に「めあて」と「できたかな」が設定されており、□にチェックして本時のめあてを振り返ることができるよう十分に配慮されている。
4 全体的な特色	- どの単元も「考える・たしかめる・いかす」の3段階で構成されており、毎時間見通しをもって主体的な学習活動が展開できるよう配慮されている。 - 文字を書くだけでなく、他教科や日常生活の書く活動場面での書写の活用の仕方が具体的に紹介されており、書写を生活に生かせるように配慮されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

社 会

東 京 書 籍

教 育 出 版

日 本 文 教 出 版

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい社会）
1 教科の目標からの配慮	・ 様々な仕事に携わっている人や児童の思いが掲載され、社会との関わりや人のつながりへの温かい理解がなされるよう配慮されている。 ・ 考えたことや選択・判断したことが、「まとめる」の段階でしっかり表されるよう工夫され、表現力が高まるよう配慮されている。 ・ 現代社会に見られる課題が取り上げられ、主体的な態度の育成に向けての工夫が見られる。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 興味・関心が高まるように、イラストが多く用いられると共に、フォントの大きさの工夫やルビをふる配慮もされている。 (2) 生産の仕事から販売の仕事へと、児童の自然な意識の流れをもとに学びが深められるよう単元配列が工夫されている。 (3) 学習問題が記述され、児童自らが学習を展開し、また学びの振り返りができるよう配慮されている。 (4) 見学の頁では、「調べること」「調べ方」「まとめ方」が明記され、それに従って見学をすれば目的が達成できるよう工夫が十分にされている。 (5) キャラクターが学習を進めていくアドバイザーの働きをし、見方・考え方を広げる手助けになっている。また、写真資料が大きく鮮明に、UDフォントも効果的に活用され、学習意欲を高めることにつながっている。さらに、資料の配置も工夫され、児童が比較や関連付けをし易く、学習の見通しがもてるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 各小単元が問題解決的な学習の流れに沿って構造化され、さらに見開きに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」が配置され、学習の見通しをもった指導やまとめ・評価がし易いよう配慮されている。 (2) 「まとめる」の段階では、書き込み欄を使用し学習を振り返られるよう工夫されている。また、ICTを活用した学習との関わりも図られ、プレゼンテーションやフローチャートなどを通して児童の思考力・判断力・表現力が高まるよう配慮が十分されている。 (3) 主教材以外の補助教材が掲載され、少ない記述の中でも多角的に社会事象をとらえる配慮がされている。 (4) 「ひなん所シミュレーション」「インターネットの利用で起こる問題の例」等、社会に見られる課題を図表やイラストを使ってわかりやすくまとめる工夫がされている。また、社会参画の仕方も示されている。 (5) 自然災害の学習ではワイド判の図表やイラスト図等を挿入し、資料をより詳しく読み取れるよう工夫が十分にされている。 (6) Dマークを使って、さらなる追究を支える工夫がされている。
4 全体的な特色	・ 前学年の振り返りから導入し当該学年の振り返りで締めくくる等、学びを振り返る態度の育成が丁寧に配慮されている。 ・ 分冊にすることにより児童の運搬を容易にする配慮がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	・ 児童自ら学習問題を設定し追究するという学習の流れと、単元の終末に「つなげる」を配置するなど連続性を重視して、主体的な学習がなされるよう配慮がされている。 ・ 関係した人の話などを随所に活用し、児童が学習内容をより一層身近なものに感じながら理解が深まるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 学習対象とする社会事象に関わる写真が多く記載されるなど、興味関心が高まるよう配慮されている。 (2) 生活科の学習を振り返ったり身近な社会的な事象から学習問題を設定したり、導入が工夫されている。また、1時間ごとの問いを示し、「次につなげよう」コーナーを設け、追究の連続性も配慮されている。 (3) 各小単元のまとめでは、関係図やキャッチコピー等が例示されたり吹き出しが対話的に使用されたり学習の振り返りを工夫している。 (4) 巻末の「社会科ガイド」等では調べ方の方法を例示したり、「学習のてびき」を設けて資料の調べ方等の視点を示したりして、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。 (5) モノクロ写真への着色など写真資料を効果的に使用したり年表が複数頁に渡ったり児童の関心・意欲を高めると共に、UDフォントも活用され読みやすさにも配慮されている。また、「キーワード」も適切に配置され、児童の追究を補助するよう配置が工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「みんなでつくった学習問題」として設定された学習問題の解決に向けて自主的な学習が展開できるよう配慮されている。また、学習が構造化されているため、見通しをもって指導できるよう配慮されている。 (2) 「まとめる」では、空白箇所に適切な言葉を入れ、吹き出しを読むことによって学習の振り返りや評価をし易いよう工夫している。 (3) 大きなイラストや写真の掲載や、社会的な事象を考えることのできる複数の資料等、児童の主体的な追究を支えるための配慮がされている。 (4) 領土問題や人口の減少など社会に見られる課題について、吹きだしやイラストを使ったり複数の箇所で見たりして社会科の見方・考え方が育成されるよう配慮されている。 (5) 5年「情報」のニュース番組作りの学習等では、写真や解説を活用しながら学習を進めるために、頁内の構成が工夫されている。 (6) 人物キャラクターによる語りや吹き出しを使って、まとめの観点がより明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ 各学年の当初において、社会科の見方・考え方を確かめたり振り返ったりし、学習のねらいが明確になるよう工夫されている。 ・ 一冊の中に学年で扱う学習内容が収められ、学習の流れを追ったり振り返ったりし易い配慮がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	・ 学習内容を振り返る中で、「わたしたちの学びを生かそう」という場を設定し、自主的な学習を促す配慮がされている。 ・ 発達段階や興味・関心を考慮して、「せんとく」小単元を多く配置したり各頁の内容構成や文字の大きさ等を工夫したりしている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 写真、地図、表など複数の資料を配置することで、社会的事象を発達年齢に応じて把握できるよう配慮されている。 (2) 児童の関心・意欲を喚起するために、学習内容に関わる写真や図版、イラストの量を増やす等の工夫がされている。 (3) 学習問題について自分の考えをもち、学習後話し合うことを重要視し、見方・考え方の深まりと同時に表現力を高める工夫がされている。 (4) 人物キャラクターを使って、「時間」「空間」「関係」の3つの視点から社会科の見方・考え方が深まるように配慮されている。 (5) 見開きの頁やカラーユニバーサルデザインの活用等、児童の学習意欲を高める配慮がされている。また、資料も上方や右方にまとめて配置される等の工夫がされ、他の資料との比較や関連付けをしやすいように配慮されている。さらに、「やってみよう」のコーナーでは、地図帳や地球儀の使用を促す工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 小単元ごとに問題解決的な学習が展開され、段階的に学習問題を配置し、見通しをもって指導ができるよう配慮されている。 (2) 「まとめ」の段階では、登場人物の話し合いの吹きだしをもとに、ノートの記事の仕方も含め丁寧な配慮がされている。また、それらの吹きだしを契機に、対話的な学習を促すような工夫もされている。 (3) 充実した内容の補助教材「わたしたちの学びを生かそう」が多く掲載され、児童の実態に合わせた指導が可能なように配慮されている。 (4) 「電力の地産地消」「再生医療」等、社会に見られる課題について、人物キャラクターや吹きだし、地図、表、イラストなどを活用し、児童にとってわかりやすくする工夫がされている。 (5) 自然災害等では、図表や写真、グラフ等を活用し、資料相互を関連付け、興味をもって学習を進める配慮がされている。 (6) 「デジタルマーク」を使ってデジタル資料の活用を図り、児童の追究を支える工夫がされている。
4 全体的な特色	・ 「社会科の学習でたいせつなこと」から学習が始まり「学び方・調べ方コーナー」「見方・考え方コーナー」等を活用し、児童の学習が充実するよう配慮されている。 ・ 各学年一冊にして、見通しをもった学び方や学習の振り返りが適時できるよう配慮されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

地 図

東 京 書 籍

帝 国 書 院

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい地図帳）
1 教科の目標からの配慮	資料や写真等の内容が精選されて見やすくなっており、児童が地理的環境を理解すると共に、地図帳をもとにして多角的に考えるための工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 巻末に統計資料等を見開きで載せ、データの部分も地域ごとに色分けすることで視覚的に読み取りやすくなるよう配慮されている。 (2) 物差しを添えた地図の縮尺が、太い枠囲いで地図の隅に明示しており、地図上の長さから実際の距離を身近に感じながら地図を活用するための工夫がされている。 (3) 赤色を強めにして段彩をよりはっきりさせ、陰影をより現実に近い形で表すことで、立体感を鮮明にするなど、見やすくなるよう配慮されている。 (4) UDフォントの視認性が高く、フォントの大きさや太さ、色など紙面に応じて使い分けされており、ふりがなもふられているので、必要な情報が読み取りやすく、目的に応じて地図を活用しやすいよう工夫されている。また、見開きの右ページにインデックスをつけ、地図帳を活用し易くしている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 町の様子を上から眺めた絵を掲載し、それが地図につながっていくことを示すことで、3年生が地図帳に親しみをもち身近な地域の学習に取り組むことができるように配慮されている。 (2) 各学年に関わる地理・歴史・公民に関する資料や写真、イラスト、吹き出しなどが地図の各頁に示されており、地図と関連させながら考察できるように工夫されている。 (3) 日本の自然災害に関わる内容を、見開きを含めた3頁にわたる日本地図で示したり、歴史の流れに伴う国名等の変化を示したりするなど、今日的課題や変化する社会の様子に対応するよう工夫されている。 (4) 日本の自然、産業、貿易、歴史、統計について見開きの資料頁を設け、関連する地図を示すことで、各学年の学習内容に応じて学習できるように配慮されている。日本の歴史と世界との関わりや、日本の世界遺産については複数頁で扱い、また日本と世界の山、川、湖、島について比較する等、日本とその国土及び世界との関係について丁寧にまとめており、地図に関わらせながら他の学習分野や世界にも興味をもつことができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	地図で示されている資料や写真等の内容が精選され、フォントの大きさや段彩と合わせて視覚的に捉えやすくなっており、各学年の学習内容が関連づけやすくなるように工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	帝国書院（たのしく学ぶ小学生の地図帳）
1 教科の目標からの配慮	・ 3 学年以上で地図帳を活用する立場から、地図の使い方について丁寧に扱っており、写真やイラストを多用し、児童が地理的環境を理解するとともに地図帳をもとに多角的に考えるための工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 3 年生からの平易な地図「広く見わたす地図」と 4 年生以上向けの詳細な地図の両方を掲載し、発達段階に応じて読み取りやすいよう配慮されている。 (2) 「地図マスターへの道」「トライ!」「地図からわかること」といった地図を読み取るための設問を設け、地図をじっくり読んだり資料頁からの情報を活用したりできるよう大変工夫されている。 (3) 全体的にやわらかで奥行きのある色表現がされており、詳細地図では幅広い色調で高低差が読み取りやすくなるよう大変工夫されている。 (4) やわらかい色使いと UD フォントの使用等のため、地名や必要事項が明瞭となり、読み取り易くなるように配慮されている。また地図上の特産物等の表記は、イラストの脇に色刷りで表示し、地名等と混同しないよう視認性を高める工夫がされている。「地図のやくそく」では 3 年生にもわかりやすい絵図を用いて説明を加えたり、二次元コードを用いて視覚的教材を更に利用できるよう工夫がされたりしている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「広く見わたす地図」では情報量を限定して、絵を多く配置しながら地方の概要が捉えられるようにし、詳細図を後に配することで必要な情報を調べまとめられるような配慮がされている。それらの様々な地図や資料には色分けしたインデックスが付けられ、各学年や学習場面に応じて活用しやすくなるよう配慮がされている。 (2) 各学習のテーマに合わせた資料を見開きで配置し、日本の自然と災害、産業などを関連させて考察できるように配慮されている。 (3) 地形別に見た日本の人口や、日本の災害や世界の地震の分布、貿易や食料自給率、外国の人との結びつきなど、現代社会の課題や解決すべき問題について、関心をもって学習できるように配慮されている。 (4) 地図の意味・約束・使い方についての 12 頁にわたる解説によって、3 年生からの地図活用の基礎・基本の定着を図り、その後の学習活動に地図帳が活用できるように工夫されている。日本の自然、災害と防災、産業、世界との結びつきや歴史と世界文化遺産、諸統計、世界地図の外国語での表記等、地図に関わらせながら他の教科学習においても興味をもって活用することができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・ 豊富な内容が盛り込まれ、児童が地図帳を活用し、主体的に追究できるような構成となっている。表紙の材質を工夫するなど、長期間の使用に耐え負担なく活用できるように大変配慮されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

算 数

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

日 本 文 教 出 版

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい算数）
1 教科の目標からの配慮	- 算数的活動を通じた学習展開やスパイラルの学習により、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう大変配慮されている。 - 数学的に考える資質・能力育成のため、数学的な見方・考え方を明示し価値づけ、統合的・発展的に学習を連続させる展開が配慮されている。 - 算数的活動の楽しさや算数のよさに気づき、学びを生活や学習に活用しようとする態度が育つよう大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- ノートを論理的な思考活動・表現活動する場として位置づけ、「算数マイノート」を手がかりに記述する中で、数学的な見方・考え方が身につくよう配慮されている。 - 各単元の導入場面に、既習や経験を単元へつなぐ「単元プロローグ」を設け、自ら単元全体の課題を見出し、見通しをもって学習を進める工夫がされている。 「つないでいこう算数の目」では、数学的な見方・考え方を価値づけ学びを統合的にとらえる場を設定し、「いかしてみよう」「おもしろ問題にチャレンジ」では、学びを現実の世界や算数の世界で生かす場を設定している。 - 巻末の「ふりかえりコーナー」「ほじゅうもんだい」、単元間の「たしかめよう」「おぼえているかな」などの豊富な復習問題を活用し、既習の学習内容を繰り返し練習・確認できるよう大変配慮されている。 1年第一分冊は、ノート機能も備えた新様式のA4判中綴じ教科書となっており、筆記や操作がしやすいよう大変配慮されている。また全学年において、太い書体を用いて視認性を向上させる配慮もされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することを重視し、1つの学期に理解が困難な内容や知識技能の定着が求められる内容が集中したり、同領域の内容が連続したりしないよう配列が大変工夫されている。 - 習熟に時間を要する内容やスパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に扱ったり、確認問題を分散して位置付けたりすることで、基礎的・基本的な内容の習得がはかれるよう大変配慮されている。 - 吹き出しやマークにより、問題解決で働かせた数学的な見方・考え方を可視化し、既習との統合や発展的な考察を促す指導につなぐよう配慮されている。 - 巻末に「ほじゅうのもんだい」を設定し、個に応じた分量や難易度の問題で指導できるよう配慮されている。 - 実物の写真や数量関係が捉えやすい絵図、発達段階に即した図を用いて指導できるよう配慮されている。 - 単元末や巻末に定着や習熟に必要な問題を示したり、単元間に復習問題を配置したりすることで、自己評価しながら主体的に学習できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- 既習を生かし問題を解決する経験を積み、生きて働く知識や技能、学びを生かそうとする態度や生かす力を育成できるよう配慮されている。 - 学習の中で働かせた数学的な見方・考え方を価値づけ、学びのつながりや考える楽しさが実感できるよう大変工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしい算数）
1 教科の目標からの配慮	- 練習問題以外に発展問題や既習事項を配し、個に応じた学習を進めることで基本的な知識及び技能の定着が図られるよう工夫されている。 - 問題の配置や考えのまとめ方の提示など思考力・判断力・表現力の育成を図る配慮がされている。 - 段階的に示された考え方や多様な考え方の例示を通し、主体的・対話的に学べるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- いくつかの考え方のヒントが図や表、吹き出しで表され、多様な考え方ができるように配慮されている。 - 問題を右ページに配置し、解決方法を次ページ以降に掲載する構成を随所に取り入れ、児童が主体的に学習に取り組めるよう大変工夫されている。 - 日常生活に基づいた話題が問題に多く取り入れられ、自分の考えをまとめたり、友だちの考えを読み取ったりする場面を設定し、主体的・対話的な学習ができるよう配慮されている。 - 既習内容「チェックアンドトライ」、補充問題「プラス・ワン」を設け、繰り返し学習ができるよう配慮されている。 - ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを採用し、見やすい紙面づくりに配慮している。巻末の「ひらめきアイテム集」図形シートにより、説明をする際の助けとなるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 各学年が1冊にまとめられていることで、学習内容の見通しがもてるようになっている。また、前の単元の内容が確実に次の単元に利用できるように順序で単元が配置されている。 - 既習事項とのつながりを意識し、計算方法等の説明を段階的に考えられるように大変工夫されている。 「じっくり深く学び合おう」を設定し、多様な考え方や表現の仕方を例示することで、友との関わり、話し合いを深めるよう大変工夫されている。 1時間の学習の最後に十分な練習問題が配されており、チャレンジ、たしかめ問題、発展的な問題「算数たまたまばこ」を設定することで、個に応じた学習が進められるよう配慮されている。 6年間を通して同じキャラクターを使い、その吹き出しの内容が既習事項の想起や考え方のヒントになるように配慮されている。 - まとめを「発見」「発見・考え方」と表し、内容としてのまとめと考え方のまとめが明確に書かれており、自己の学習過程を振り返る際の手だてとなるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- 思考の流れが分かるような問題の設定や配置によって、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫がされている。 - 他学年、日常生活とのつながりを意識しながら学習が進められるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ 小学校算数）
1 教科の目標からの配慮	- 生活場面から問題を提示し、知識、技能を生かして問題解決できるように配慮されている。 - 既習事項を活用し、数学的活動の楽しさを実感できるように配慮されている。 - 生活場面から問題を提示し、主体的に課題に取り組む態度を養うように展開が工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 多様な方法で解決できる問題を入れたり考え方を複数示したりすることで児童の考えが広がるように配慮されている。 - 単元の導入では、生活場面を算数でとらえた「？を発見」を設け、数学的活動をしながら自ら新しい課題に取り組めるように大変工夫されている。 - 生活の場と数学の世界を関連づけた「生活にいかす 深めよう」を設け、既習事項を使って主体的に取り組んだり、友だちと協働的な学習をしたりできるように工夫されている。 2学年から6学年の上巻頭に前年度学年で学習した内容を載せたり、目次に関連学年の既習単元を記載したりして、単元や学年を超えて系統的に学習内容がつながるように工夫されている。 - 紙面が大きめサイズでカラーバリアフリーになっている。単元を通した学習過程が「表したいな」等のタイトルで示され、学習の手がかりになるように大変配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 問題を整理して配置することで、思考、判断、表現の力を伸ばすことができるように配慮されている。 - 問題解決の段階を細かく分け、易から難になるように配列したり、基礎的・基本的な知識及び技能を身につける単元と活用する単元に分けたりと構成が配慮されている。 「算数で見つけた考え方モンスター」で数学的な見方や考え方を示し、主体的に学び、友だちと関わり合いながら統合的、発展的に考えられるように配慮されている。 「生活にいかす 深めよう」や「ほじゅう問題」を設けることで、自分にあった課題に取り組みながら内容を補充、発展できるように配慮されている。 - 問題解決の手がかりになる挿絵、吹き出し、道具の使い方が分かる連続写真を載せる等、指導に生かせるよう大変配慮されている。 「今の自分を知ろう！」を設け、既習事項を使って問題を解き、個に応じた評価や自己評価ができるように工夫されている。
4 全体的な特色	- 問題解決の段階を細かく分け、基礎的・基本的な知識及び技能を育成することができるように工夫されている。 - 生活場面から問題を提示し、数学的な見方、考え方を生かしながら主体的に問題解決できるように展開が工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（小学校算数）
1 教科の目標からの配慮	- 既習事項と比較しながら新しい内容を学習し、基礎的・基本的な知識及び技能が定着できる構成である。 - 複数の見方・考え方から思考し、思考力・判断力・表現力等を育成できるよう配慮されている。 - 児童が日常生活に算数を利用する有用性を実感しながら、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 吹き出しや表し方のちがう図を提示して複数の考え方に気付けるように配慮されている。 - 児童の疑問から見出した問いを深めていく構成となっており、「算数をつかって考えよう」では解決した事象を評価・改善するなど、筋道を立てて表現する力を伸ばせるように工夫されている。 - 日常生活からの疑問を算数の問題として位置付けることで、児童の興味関心を引き出すことができ、考え方を比較したり新たな問いを生み出したりする構成が、児童の主体的・対話的な学びにつながるよう大変工夫されている。 - 既習事項と比較したり関連付けたりしながら考えて新たな知識や技能を獲得できるような工夫されている。 - 学年に応じた字の大きさや文量で読みやすさに配慮されており、全学年を通して配置や色遣いが統一されている。また、関係図にマスをつけて視覚的に数量関係をとらえられるよう大変工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 利用する学習内容と単元が順序よく配列され、既習事項と関連付けながら単元が学習できるように配慮されている。 - 児童が「よくある間違い」で誤答の原因を理解したり、「考えるヒント」で思考を整理したりしながら、基礎的・基本的な知識及び技能を獲得できるように工夫されている。 - 単元末に位置付けられた「算数ワールド」で学習内容が発展的に用いられている日常生活を紹介しており、児童が互いの考えを交流させながら論理的に筋道を立てて思考できるような工夫がされている。 - 単元末の「ふり返ろう」では、知識・理解や技能の演習に加えて数学的な見方・考え方も見返せるような構成となっており、個の習熟度に応じて児童が復習できるように大変配慮されている。 - 用語の説明が端的に整理されて書かれており、問題場面が想起できるようなイラストや写真が配置されている。 - 学習内容が定着するように練習問題の配置が配慮されている。また、各単元の終末に【まとめ】のページが配置されており、内容の復習や確認ができるように配慮されている。
4 全体的な特色	- 色遣いや配置などの見やすさや日常場面との関わりに重点のおかれた構成となっており、児童が主体的に学習できるよう配慮されている。 - 個に応じて、知識及び技能や思考力・判断力・表現力等の定着や発展につながるよう構成が工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館(わくわく算数)
1 教科の目標からの配慮	- 日常生活につながる具体的な場面が多く示され、主体的に取り組みやすい。また、練習問題が豊富に用意され、基礎的・基本的な知識及び技能の定着ができるように大変工夫されている。 - 数学的に考える資質・能力の育成のため、数学的な見方・考え方が働くよう場面設定が工夫されている。 - 学習を振り返って、学んだことを日常生活に生かそうとする態度が育成できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 問題に応じていくつかの考えのヒントが吹き出しで表されたり、図や表を使って表されたりするなど、多様な考え方を生み出せるよう、大変配慮されている。 - 各時間に学習の「めあて」が位置付けられ、児童が見通しをもって主体的に学習を進められ、「まとめ」で学習内容が身につくよう大変工夫されている。 - 日常生活とのつながりを大切にした問題が多く、自ら問題を見つけて見通しをもって解決へ向かうように大変配慮されている。 - 例示問題に合わせた練習問題、その下部には巻末の「もっと練習」へ導く表示があり、より多くの問題に挑戦できる。さらにQRコードが掲載され、自主的に繰り返し学習できるよう大変工夫されている。 - 文字の大きさや行間、さし絵、図などは、発達段階に応じて配慮されており、読みやすくなっている。また、落ち着いた色彩で、学習内容が分かりやすくなるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 数量の倍関係を正しく把握できるような工夫がされているなど、各学年の発達段階に応じて、単元の構成が配慮されている。 「じゅんぴ」「いつもの学習」「練習」「学びのまとめ」といった構成を基本にし、図の掲示や練習問題の量など、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように大変工夫されている。 - 皆で話しあう場面が位置付けられ、友達の考えを書くノート作りを勧めている。また「学びのサポート」でもっと力を伸ばす「ちょうせん」問題が準備されるなど発展的に考えられるよう大変工夫されている。 - テープ図や線分図、関係図、数直線図といった割合の表し方について、発達段階に応じて系統的に示されており、巻末の「算数資料集」に図のかき方を分かりやすくまとめるなど個に応じた工夫がされている。 - 作図の仕方など、手順が丁寧な図で示されている。また、QRコードを読みこむと、動画で分かりやすく示される。児童の理解の向上につながるよう、大変工夫されている。 - 単元ごとの「学びのまとめ」では関連ページが示され、児童の自己評価、教師の評価に役立つ工夫がされている。
4 全体的な特色	- 自ら見いだした課題について、多様な数学的な考え方をを用いて主体的に学習が進められるように大変配慮されている。 - 日常生活とのつながりを意識し、個に応じて多様な数学的な見方・考え方で解決しようとする態度が育成できるように工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版(小学校算数)
1 教科の目標からの配慮	- 子どもの実態に応じた柔軟な取り扱いができるような題材を集めるなど、算数の基礎的・基本的な知識及び技能が定着できるように配慮されている。 - 筋道立てて考えたり、考えたことを話し合ったりするための着眼点が「カギマーク」で示され、思考力・判断力・表現力等を育成できるよう工夫されている。 - 日常生活に活用する場面が充実しており、算数の楽しさやよさが感じられるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 多様な考え方を数学的に表現し伝え合う活動を取り上げ、「見方」「考え方」「方略」カードで、着目ポイントや思考の仕方が分かるように工夫されている。 - 単元末の「わかっているかな」・「まちがいやすい問題」で、児童が自ら課題意識をもって学習に取り組んだり、巻末の「学び方ガイド」で話し合いや振り返りの観点を明らかにしたりするなど、学習過程を明瞭にして問題解決できるように内容構成への配慮がされている。 「Hello! Math」でより実感的に算数を学習し、作業的・体験的な活動を通して、習得した知識・技能を実際の生活場面での問題解決に活用できるように工夫されている。 - 単元前の「次の学習のために」と単元末の「たしかめポイント」で基礎的・基本的な内容を繰り返し学習できるように大変配慮されている。 - 問題文や大切なポイントは枠囲みや網掛け等で視覚的に注目しやすくするように工夫され、文節で改行するなどの細かな配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 低学年は単元を分散的にし、高学年は関連する内容をまとめて配列している。また、習熟に時間を要する内容は早期に学習指導できるようにするなど、単元配列が配慮されている。 - 本編の「直後の練習」では、十分な分量の問題が用意され、学習内容が確実に定着・習熟できるようになっている。また、巻末の「しっかりチェック」に、本編と同レベルの問題が用意され、基礎的・基本的な知識及び技能の定着がより確実になるように大変配慮されている。 「自分で みんなで」では、数学的な表現を用いて筋道を立てて考えたり、伝え合ったりする学習の手順や着眼点とともに、めあてやまとめも示されており、一連の学習活動として捉えることができるように配慮されている。 2年以降の巻末に設けられた「算数マイトライ」は、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」の3コーナーで構成され、基礎・基本から応用・発展まで、児童の実態に応じて柔軟に取り扱うことができるように大変工夫されている。 - 児童の日常生活経験や季節感を重視した素材や場面を取り入れたり、児童が活動している写真を多く用いたりして、学習指導に生かせるように配慮されている。 - 単元末の「たしかめポイント」には、設問ごとにねらいが記載され、自己評価を促す工夫がされている。
4 全体的な特色	- 主体的に算数的活動に取り組んだり、算数の楽しさやよさが感じられるように配慮されている。 - 数学的な見方・考え方を働かせた活動の充実で、生活や学習の基盤となる算数の礎が築けるように配慮されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

理 科

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信州教育出版社

啓 林 館

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい理科）
1 教科の目標からの配慮	・ 自然の事物、現象についての理解を図り、観察、実験に関する基本的な技能が身につくことができるよう適切に構成されている。 ・ 問題解決の過程における学び方が示され、問題解決の能力を育成することができるように大変適切に構成されている。 ・ 児童の疑問を基に主体的に問題解決に取り組めるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 学習内容は、各学年とも児童の発達段階に応じるように配慮されており、単元の扉の「学んだことをつかおう」で想起させたり、他教科や生活との関連が図られたりするような工夫が適切になされている。また、巻頭や巻末に学年目標に沿った理科の学び方が示され、学習内容が児童の発達段階に合うように配慮されている。 (2) 問題をつかむ、予想、計画、観察、実験、結果、考えよう、まとめ、「学ぶ前の私」「学んだ後の私」、といった学習の流れが示され、科学的な見方や考え方を育成できるよう、大変適切に工夫されている。 (3) 単元の扉に身近な事象の観察や具体的な活動が写真や図とともに示され、興味・関心や問題意識を高める配慮が、大変適切になされている。 (4) 観察、実験の方法が順序立てて児童にわかりやすく、また、安全への配慮が必要な場面では、「きけん」と赤い文字で強調して示され、注意喚起が適切に配慮されている。 (5) 全体を淡い色調で統一し、児童が落ち着いて学習に取り組めるように配慮されている。また、拡大図や実物大の写真などを掲載し、児童の興味・関心を高める配慮が、大変適切になされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 児童の気づきや疑問をもとに、問題意識を高め、追究することができるような単元構成であり、各単元が季節に応じた指導ができるような工夫がされている。 (2) 「学びをつなごう」では、学年や単元の関連性が示されている。また、「観察、実験」と「結果」「まとめ」が同じ見開きに示されない形で構成されており、結果から考察し結論を導く力の育成や、「理科のミカタ」を通して思考力、判断力の育成が適切に図られている。 (3) 各単元が季節に適した時期に指導できるように適切に構成されている。また、導入で直接体験を促したり、問題を焦点化し、観察、実験で明確な結果が得られる方法や手順を示したりして、実感を伴った理解がなされるよう展開が工夫されている。 (4) 巻末資料に、観察、実験の基礎技能、ノートの手書き方、発表の仕方をまとめて掲載し、必要な時に確認できるように適切に配慮されている。 (5) さし絵や写真は、実物大や資料性の高いものが掲載され、経過がわかりやすいように工夫されていたり、比較して問題を見付けることができるように工夫されていたりと、学習指導に生かせるよう配慮されている。 (6) 単元末の観点別評価に沿った「たしかめよう」や、巻末の「学んだことをふり返ろう」では学習した内容の定着が確実に図れるような工夫が適切になされている。
4 全体的な特色	・ 児童自らが問題をつかみ、見通しをもって観察、実験を行い、結果をもとに考察する過程で、問題解決の能力を育成できるように適切に構成されている。また、問題解決の過程や学習の流れが一目でわかるようにレイアウトが大変適切に工夫されている。 ・ 適度な余白があり、問題解決の各段階のタイトルを大きな文字で示し、本文に多くの色を使用することを控えて淡いトーンで統一されている。また、UD フォントを使い、児童が見やすいように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしい理科）
1 教科の目標からの配慮	- 観察・遊び・既習事項から「問題を見つける」ことから始まり、主体的な観察、実験を通して問題解決に取り組めるように構成されている。 - 話し合いを通し、環境に配慮しながら見通しを持って観察、実験し、生活に生かそうとする態度を育成するように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	「理科の学び方」のページでその学年で大切にしたいことが明示されそれぞれの学年の発達段階に応じるように配慮されている。 - 単元の導入では既習事項や身近な生活経験から問題を見つけ、理科の見方・考え方を働かせて問題解決につながるような工夫がされている。 - 学習が主体的・対話的に行えるように、単元のはじめに必ず観察、実験や遊びを通して気づきを話し合う活動が入っている。また、予想や考察の場面でも、話し合う場面が設定されるよう大変適切に配慮されている。 - 観察、実験の方法が順序立てて写真や図で適切に示されている。また、危険を伴う場合は注意事項を赤字で強調し安全性への配慮がされている。 - 一文が短く端的で、UD フォントが使用されており読みやすい。また、さし絵、写真がふんだんに使われ、レイアウトも全ての児童にとってわかりやすくなるよう大変適切に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 各学年の年間を通して追究していく内容を冒頭で扱ったり、関係する単元を系統的に扱ったりするなど、単元構成が工夫されている。 - 単元の最初の「〇年で学んだこと」では既習事項が、単元の最後の「サイエンスワールド」では中学で学ぶ発展的な内容が紹介され、他学年や中学校との連続性が図られている。また、「りかのたまてばこ」のコーナーでは学習内容に関わる様々な分野との関連が図られている。 - 動植物の成長観察や天体・気象の観察が、季節に合わせて行われるように単元配列がされている。 - 観察、実験では、安全が確保された教材や牛乳パックなどのリサイクル品を使った実験方法を示したり、ESD や環境に関わるコラムを掲載したりして、安全性や自然環境に配慮されている。 - さし絵や写真等が明瞭でバランスよく配置され、キャラクターの吹き出しにより気づきや問いかけが児童の学習意欲を引き出すように、大変適切に配慮されている。 - 単元最後の「確かめよう」では、基本的な内容の確認問題、「学んだことを生かそう」では、活用問題、さらに、巻末に「チャレンジ問題」を取り入れ、児童自身も習得した科学的な見方・考え方を確認・評価できるように大変よく工夫されている。
4 全体的な特色	- 問題を見つけ、予想をしてから観察、実験をし、結果から結論を導き出すという過程を繰り返す中で自然事象についての理解を図り、問題解決の力の育成を図っている。 - 各巻末に学年全体のまとめの問題やチャレンジ問題と次の学年での学習内容を示し、確実な学力定着と学習の系統性を図っている。 - 興味・関心を高める観察、実験や、豊富な資料をとりあげ、理科の面白さや有用性を実感できる工夫がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ小学校理科）
1 教科の目標からの配慮	- 各学年一貫して、単元の流れが「話し合い→問題→予想→計画→観察、実験→結果→考察→結論」という流れになっており、理科に関する基本的な技能が身に付けられるような構成が適切にされている。 - 生き物の写真をたくさん掲載したり、児童の直接体験を重視したりしながら、児童が主体的に問題を解決しようとする態度を養うよう大変適切に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 児童の思いや願いを学習の始めに位置付けるなど、各学年ともに児童の発達段階に即しており、児童の実態に応じるよう適切に配慮されている。 - 生活経験と結び付けて考えたり話し合ったりすることで、理科の見方・考え方を働かせて問題を科学的に解決できるようよく工夫されている。 - 単元の冒頭で、学習内容に関する身近な事象の写真があり、「話し合い」の活動や単元末の「やってみよう！」など、児童が興味・関心をもって活動に取り組めるよう大変適切に配慮されている。 - 観察、実験の方法が、図や写真で順序立てて示されており、安全に配慮が必要な場合は「注意」と朱書きで強調する等、適切に配慮されている。 「実験器具の使い方」には、児童の目線からの写真と短い文が掲載され、児童が読みやすく、児童の学習意欲を高められるよう、大変適切に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	5年ではふりこの運動を一番初めの単元に設定し、条件制御の考え方をその後の単元で働かせられるように、単元の構成が大変よく工夫されている。 - 単元を通して児童が働かせる見方・考え方についての記述があり、単元末では学習内容を身の回りの事象に適用させながら、思考力・判断力・表現力などの育成が図られている。 - 観察、実験などの直接体験ができるように、地域の気象条件や季節に合わせた単元配列がよく工夫されている。 - 各学年の巻末に話し合いや聞き方の手順、記録や調べ方の方法、理科室の使い方、学年で使用する実験器具の使い方が記載されており、大変適切に配慮されている。 - イラストの大きさと実際の大きさを比較するなど、児童の興味・関心を高めるような写真が使われており、各単元で問題解決の過程に沿って学習が進められるよう、大変適切に配慮されている。 - 単元末の「まとめよう」では、単元で学習した内容が整理されており、学習内容が定着するようによく工夫されている。
4 全体的な特色	- ところどころのページにQRコードがあり、動画等でも確認できたり、確認のためのチェック欄を入れたりするなど、インクルーシブ教育への対応が大変適切に配慮されている。 - 表紙に掲載されている科学者の言葉を裏表紙で紹介したり、各学年での学習を基に将来の職業を連想したりして、学習から未来の自分を想像させるキャリア教育への対応が、大変よく工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	教育出版（未来をひらく小学理科）
1 教科の目標からの配慮	- 具体的な記録例や実験器具の使い方の例が示され、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付けられるように構成されている。 - 観察、実験の結果を基に、更に結論を導く授業展開になっており、問題解決の力が養われるよう構成されている。 - 学習と関連する事例を紹介し、自然を愛する心情や、問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 巻頭や巻末に各学年の目標に沿った学習の進め方が示され、学習内容や分量が児童の発達段階に応じるよう配慮されている。 - 単元の冒頭では、身近な事象から学習が始まるように構成され、理科の見方・考え方を働かせて、科学的に解決できるように工夫されている。 - 児童の思考の流れに違いが出ることを考慮して、実験の手順をA・Bのように連記して複線的な授業の展開を示すなど、児童の意識に沿った実験が展開できるように大変よく工夫されている。 - 観察、実験の方法や図が詳しく示されており、赤と黄色で強調された「危険」マークで示したり、器具や薬品の「安全な取り扱い方」を示したりすることによって、安全性について大変適切に配慮されている。 - さし絵、写真、図表などは適切に配置されている。観察、実験ページは黄色の背景色で区別したり、電気の学習では、導線の色の識別を支援するために色名を文字でも表示したりするなど、視覚的な配慮が大変よくされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 単元の系統性や他教科で学習した内容との関連が掲載され、授業の中で活用できるよう工夫されている。 - 単元のはじめには「学習のつながり」が提示され、他学年や中学との単元の関連性が示されている。理科で働かせたい考え方が教師と児童のやりとりで示され、対話的な学習となるよう配慮されている。 - 人の体に関する資料が実物大で掲載され、興味をもって追究できるように配慮されている。 - 観察、実験では「危険」マークによって注意喚起が図られたり、裏表紙に「理科の安全の手引き」を掲載したりして安全面が大変適切に配慮されている。 - さし絵、写真、図表の内容は適正かつ明瞭であり、本文との関連が密接である。 - 単元末に「確かめ」問題や、巻末の「〇年で学んだこと」で、学習内容の定着や他学年との関係が分かるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- 単元のはじめには「学習のつながり」が示され、単元間のつながりが分かる。問題解決の流れが対話形式で表現され、対話的な学びを通して思考力が育成されるように配慮されている。 - 最先端の科学技術や、日常生活と学習内容を関連させ、興味・関心の向上や理科の有用性を身近に感じられるように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	信州教育出版社（楽しい理科）
1 教科の目標からの配慮	・ 県内の身近な自然を多く取り上げ、それらに親しむことから課題を見だし、見通しをもって学習を進めることで、問題解決の能力を育てることができるよう大変適切に構成されている。 ・ 学習を通して、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図ることができるように、観察、実験が大変適切に設定されている。 ・ 地域の自然や、栽培する植物などを丁寧に扱うように記述されており、自然を愛する心情を育てることができるよう適切に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 電気や音など目に見えないものについての単元では、実験を多く行なうことで事象への理解を深められるようにするなど、学習内容の程度や分量が、各学年とも大変適切に配慮されている。 (2) 農業が盛んで自然豊かな長野県の実態に即して、児童が今までの栽培経験や身の回りの事象から問題を見だし、理科の見方・考え方を働かせて問題を科学的に解決できるよう大変工夫されている。 (3) 数値だけでなく、児童の感覚的な部分も記録するよう促すことで、事象を体感しながら理解できるよう適切に配慮されている。 (4) 観察、実験の方法が黄色い囲みで明確に示され、分かりやすい言葉で説明されている。また、危険な状況が視覚的に理解できるように、図で示すなど、安全性について大変適切に配慮されている。 (5) 写真、図表等は鮮明で、細かい箇所はズームアップされるなど、見やすさに配慮されている。また、児童にとって身近な県内の自然を多く取り上げることで、学習意欲が高まるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 観察、実験ではどのような方法で何を調べたり確かめたりするのが明確に示され、児童の意識の流れに沿って問題解決が連続的に展開されるよう工夫されている。 (2) 「思い出そう」で、学習内容に関わる今までの学習事項を示し、他学年の学習を想起させる展開が工夫されている。学習した内容を生かして発展的な学習が行えるような展開が工夫されている。 (3) 冷涼な長野県の気候を考慮し、児童が身の回りの自然を題材にして主体的に学習活動が展開できるよう、単元の構成や配列が大変工夫されている。 (4) 新しい器具を扱う時は安全面について大変適切に配慮されている。また、観察対象を傷めないような方法を明確に示すなど、環境保全について大変適切に配慮されている。 (5) 実験の方法が視覚的にわかるように、児童が実際に実験を行っている様子を示す写真が多く用いられ、指導に生かせるものになっている。また、実験、観察の結果がノートや学習帳等への児童の記録に即した形式で例示され、指導に大変生かしやすくなっている。 (6) 単元末の「まとめよう」では児童のレポートのような形式でまとめが位置付けられ、観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ 長野県の特徴ある自然を多く取り入れ、気候の変化に合わせて単元の構成や配列を工夫することで、児童が身の回りの自然から学ぶことができるよう大変適切に配慮されている。 ・ 身近な事象から問題を見だし、児童の意識の流れに沿った展開で観察、実験を行うことで、児童が主体的に問題解決することができるよう適切に配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館（わくわく理科）
1 教科の目標からの配慮	・ 自然の事物・事象に親しむとともに、見通しをもって主体的に観察、実験に取り組める構成である。さらに、写真やイラストを使って示し、実感を伴った理解や自然を愛する心情を養うよう配慮されている。 ・ 観察、実験の視点や考察の仕方、まとめ方や話し合いの仕方など、図やさし絵で示し、科学的思考力を養える構成になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 学習内容は各学年とも児童の発達段階に応じて、学習内容の程度や分量が、配慮されている。 (2) 単元導入ページには「思い出してみよう」「かんがえてみよう」「学習のめあて」があり、これからの学習を示唆する写真を大きく掲載するなど、児童が経験をもとに理科の見方・考え方を働かせるための問題提示の仕方が大変よく工夫されている。 (3) 「つなげよう」では、学習内容に関連した職業紹介やメッセージが示され、学習したことが実社会につながる有用性が実感できるように配慮されている。 (4) 観察、実験の見出しの横に、手順を示した番号を付け、分かりやすく示している。また、安全に留意する点は、赤字やマークで示されていて、分かりやすい。 (5) 使っている書体は全てUDフォントに統一されていて、読みやすい。単元の導入には必ず、大きな写真で意欲を高める配慮がある。特に、生き物の写真は鮮明であり美しく、実物と比較しやすい。全体を淡い色調で統一し児童が落ち着いて学習に取り組めるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 巻頭に「自然の不思議を解き明かそう！」を設け単元全体における、問題解決の流れを把握しやすくしたり、生活体験や既習事項を取り上げたりするなど授業作りへの工夫がされている。 (2) 単元末に「活用しよう」を設け、図や写真から必要な情報を読み取って考えさせたり、説明させたりするなど、関連を図っている。 (3) 実験の予想、計画、結果、考察において、協力的して活動する場面を示し、深い学びにつながる配慮がされている。 (4) 自然観察の仕方や身近なものを利用した実験道具が提案され、無理なく観察、実験を進める指導が位置づけられている。また、「みんなで使う理科室」では、器具や理科室の使い方などがまとめて示されたり、自然環境や安全に配慮のある記述がされたりして、指導の一助となる工夫がされている。 (5) さし絵、写真、図表などが明瞭で、児童が捉えやすいように大変よく配慮されている。また、観察、実験のページでは関連した技能を写真で提示し、指導の一助となる工夫がされている。 (6) 単元のまとめは、「まとめ」という印の横に同色の○印があり、学習内容の確認と定着を図りやすくするように大変よく工夫されている。
4 全体的な特色	・ 児童が主体的に問題解決に向かい、基本的な知識や技能の確実な定着、科学的思考力を育む構成となっている。 ・ 各学年の巻頭で「見つける」→「調べる」→「ふり返る」の一連の学習の流れが示され、児童が思考しやすいよう配慮がされている。 ・ 他教科とのつながりや、プログラミング学習へつながる意識、デジタルコンテンツの利用などの配慮が各所になされている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

生 活

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信州教育出版社

光 村 図 書

啓 林 館

日本文教出版

令和元年度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（あたらしいせいかつ上・新しい生活下）
1 教科の目標からの配慮	・ 学習指導要領で育成が求められている資質・能力を分かりやすく掲載したり、写真をダイナミックに掲載したりすることで、児童の意欲を喚起し、知的好奇心を刺激するようになっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 入学直後の学校生活に対応できるよう、スタートカリキュラムに育てほしい姿を、イラストと保護者向けのメッセージで示している。 (2) 巻末に実物大の植物図鑑などが示され、子どもたちが自分の力で実物を見つけやすいように工夫されている。 (3) 淡い色合いのイラストや見せたい物の特徴がわかりやすい写真が多く掲載され、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されている。 (4) ユニバーサルデザインの観点から、小单元名、手洗いマーク、約束などをいつも同じ位置に配するなど、レイアウトを工夫している。 (5) 淡い色合いのイラストや見せたい物の特徴がわかりやすい写真が多く掲載され、活動への意欲や期待感が高まるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 導入・展開・まとめがそれぞれ見開きページで配列されていて、児童が自然に学習に入っていけるよう配慮されている。 (2) 遊びや登下校の中での気づきを多く取り上げ、そこから単元展開を図っていくことで、主体的に取り組めるよう配慮されている。 (3) 活動例を多く例示し、児童が意欲的に活動できるよう配慮されており、また生活科における「主体的・対話的で深い学び」が実現できるような表現活動も、多く例示されている。 (4) 友だちに聞く姿や、地域の方に聞く姿をイラストや写真で多く紹介し、児童の気づきの質が高まるような配慮がされている。 (5) 相手や状況に応じた適切な話し方や気づきを、吹き出しで表現し単元で付けたい力を分かりやすく例示している。 (6) 単元のまとめの場面では、パンフレットや新聞づくり、ICT を使った発表会など、多様な活動を紹介し、言語活動の充実を図っている。
4 全体的な特色	・ イラストや登場人物の活動の過程を通して、生活科で育成すべき資質・能力が見えてくるように示されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしい せいかつ上・下）
1 教科の目標からの配慮	身近な人・社会・自然に関心をもち、進んでそれらと関わり、楽しく生活しようとする意欲や、実際の体験から生まれる喜びや感動が活動の中心になるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 児童が主体的・意欲的に活動できるように、低学年児童の心身の発達段階に沿って、活動と生活が総合的に感得・体験できるように構成されている。 (2) 身近な人々、社会及び自然を学習の対象とし、繰り返し対象と関わり、自分との関係の中で活動できるよう工夫されている。 (3) 児童の思いや願い、気付き、活動のヒントや危険防止、マナーに関わる事項など、特に注目してほしい事は吹き出しとしてわかりやすく表現し、自発的で多様な活動を促すよう工夫されている。 (4) 町探検した場所に休日行ってみるなど、生活科の活動がその後の自分の生活に生かされていく場面を取り上げ、自分の生活を豊かにしようとする資質・能力を育成するよう配慮されている。 (5) 美しい情景・繊細な自然の営みを写し出した写真、モノクロ表現、透明シートなどを通して、子どもたちの感性を刺激したり、想像力を掻き立てたりする工夫がなされ、子どもの学習意欲を高めるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 上巻は「なかよし」下巻は「はっけん」をキーワードとし、動植物の成長、自然の変化などの季節、家族や地域との関り、自分の成長を考慮した配列がなされ、学校行事との関連も図りながら活動できるよう配慮されている。 (2) 動植物の継続的な飼育栽培活動を通し、生命を大切にする心や相手の立場になって考える心などが育まれるよう配慮されている。 (3) 身近にあるものを使って遊びに使うものを作る場面を多数掲載し、児童が主体的に遊びを楽しむ中で、その不思議さや面白さを実感できる展開が工夫されている。 (4) 双方向の交流を意識し、相手からの感想や意見をもらう場面を設け、交流活動の楽しさやよさを味わい、気付きの質を高めることができるよう配慮されている。 (5) 見開きの上部に端的で具体的な課題が提示され、ページの意図が分かりやすく、問題意識を明確にもてるよう配慮されている。 (6) 活動の終末に、振り返りカードなどの具体的な方法が紹介され、活動の成果を互いに認め合ったり、自分たちの成長に気付いたりできるよう配慮されている。
4 全体的な特色	動植物の成長、自然の変化など季節的・時間的経過が配慮されており、実際に「見る」「触る」「食べる」「作る」といった直接体験ができるように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなとまなぶ）
1 教科の目標からの配慮	- 見通しを持って自己決定しながら願いを達成する中で、目指す資質・能力が自然と身につくように配慮されている。 - 発達段階に応じた対話の場面を設定し、「学び方図鑑」等で活動の質を深めることで、豊かな表現力が身につくように配慮されている。 - 振り返りの場面で、自分自身の変容や成長を捉え、自分のよさに気づいたり、更に興味関心が広まったりするように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 入学直後の児童が安心して学校生活に対応できるようにスタートカリキュラムを位置づけ、発達段階に沿って興味関心が広がっていくように配慮されている。 「ものしりノート」で多様な活動を紹介することで、児童の主体的な取り組みと生活科での学びが実生活に返っていくように配慮されている。 - 対話しながら活動を展開する場面や身近な人々との交流から学ぶ場面が掲載されていて、伝え合う活動への意欲が増すようになっている。 「わたしたちの野さいばたけ」「生きものと友だち」では、多くの種類の野菜や生き物を紹介することで、児童の興味関心をひくと共に、多様な活動・体験に対応できるようになっている。 - 各単元の初めのページは見開きになっていて、明るい大きな写真・児童の思いに沿ったタイトルで、児童の期待感が高まる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 探検、遊び、飼育、栽培、家族・成長の5つの活動領域で構成され、学習のねらいを明確にしながら継続的に活動を仕組めるようになっている。 「ものしりノート」で対象の見方や観察の仕方を示したり文章にまとめるときの書き方を紹介したりすることで、児童の見方、表現の仕方が深まるように配慮されている。 - 主人公の吹き出しの中に疑問・迷いを盛り込むことで、実際に児童が解決策を考えたり試行錯誤を繰り返したりする活動が展開できるように配慮されている。 - 巻末の「学び方図鑑」を各単元と関連させながら利用することで、伝え合い交流し合う方法を具体的に学べるよう配慮されている。 - 児童の学習過程が写真で表されていることで、児童が具体的な見通しを持って、学習活動を展開すると共に表現の幅も広げることが出来る。 - 各単元「ふりかえろう」の場では、学習カードの実物や新聞・作文など多様な表現、様々な活動が掲載されていて、自己の学びを表現したり、友達の気づきから学び合ったりできるよう配慮されている。
4 全体的な特色	- 児童の気づきや表現の質が高まるような各種コーナーがあり、主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。 - 臨場感のある写真や児童の意識に沿った吹き出し、参考になる学習カードなど、見通しを持った学習が展開できるように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	- 生活科の目標から六つの「力」を抽出し、ねらいに近づけるような言葉で表したり、あらかじめ具体的な体験活動で示したりして工夫されている。 - 発達段階に応じて、活動内容が系統的に設定されており、児童が活動を把握して取り組みやすくなっており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 幼児期での学びから、安心して楽しく確実に学校生活・学習につなげていくようスタートカリキュラムが盛り込まれ、発達段階に沿って興味・関心が広がり、活動や情報量が徐々に豊かになるよう配慮されている。 (2) 全国各地の特色を示す写真を用いながら、地域や学校の実情に応じて活用できるように工夫されている。 (3) 各単元の始まりには学習のねらいが端的にわかりやすく示されており、児童がめあてをもって学習に取り組めるよう配慮されている。 (4) 各ページに学習を進めるためのヒントを掲載したり、巻末において参考になるスキルをまとめて掲載したりしている。これらを繰り返し活用することで、生活を豊かにしていくための資質・能力を身に付けられるよう配慮されている。 (5) 児童が読みやすいように、栽培カードを大きく示したり、立体印刷を使ったりすることで、学習意欲を高めるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 各教科との関連する活動には学びのポケットのマークで示され、巻末にまとめられており、生活科の特質に応じた適切な指導がなされるよう配慮されている。 (2) 栽培や飼育活動が継続的に行われる構成になっている。また、活動後は考え、伝え合う活動を設け、子どもたちの主体的な活動ができるよう工夫されている。 (3) 季節の変化と生活を結び付け、自分の生活に興味・関心がもてるように、自然の不思議さをクイズにしたり、日本の風物詩や食べ物、行事などを掲載したりしている。 (4) 友だちや家族、地域の人々などの身近な人との交流活動が設定され、交流を通して学習が深まるよう配慮されている。 (5) 学習をサポートするキャラクターにより子どもたちが目で追って読みやすい言葉で活動を呼びかけたり、何気ない気づきから自覚された気づきへと導いたりする工夫がされている。 (6) 小単元末には書き込みの空欄やまんぞくハシゴが用意され、主体的・対話的に学習内容が定着するよう工夫がされている。
4 全体的な特色	- 発達段階や他教科と関連付けた学習ができるように配慮されている。 - 諸感覚を使って思考を組み立て整理する活動を通して、児童が主体的に学習を進められるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	信州教育出版社（せいこつ 上あおぞら・下そよかぜ）
1 教科の目標からの配慮	- 長野県の気候・風土に配慮し、年間を通して連続的で具体的な活動や体験を通じて、社会事象、自然事象、自分自身について気づけるよう配慮されている。 - 活動の始まりや追究過程を大事に考え、子どもたちの気づきや願いなど追究意欲を高める構成になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- スタートカリキュラムのページを掲載することで、入学直後の児童が安心して学習に取り組むことができる。また、発達段階に応じて児童の興味・関心が深まっていくよう配慮されている。 - 児童の1年間の営みに合わせ、身近な人々や自然と関わる活動が展開されている。また、入学期の子どもの発達の特徴を考慮し、遊びや活動を重視して、総合的に授業を展開できるようにしている。 - 動植物の継続的なかわりを大切にし、息の長い活動を位置づけ、家庭・地域との連携も大事にしながら成長していく姿が表されている。 - 活動の節々における「感動体験」、試す・確かめるなどの「探究活動」、自らの体験を見返し味わう「表現活動」を多様に示し、より深い学びにつながるよう、友達同士の学び合いや情報交換の場を位置付けている。 - 観音開きページのレイアウト、「吹き出し」や「対話」「詩・作文」等により、児童の思考を深めたり、活動や体験の質を高めたりできるよう配慮されている。また、山羊を中核に取り上げており、他社にはない大型動物への取り組みも工夫されている。また、学習の終末「別れ」も大切に考えられている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学習場面が、児童の身近な地域、自然、施設、人々と直結していて、児童が実生活と照らし合わせて学んでいくことができる。 - 年間を通した連続的な体験等を通して、自分自身のあり様に気づくよう配列されている。 - 長野県で生まれ育つ児童が、一年間を通して繰り返し直接体験したり、季節の変化と関わりがある地域の行事を調べたり、興味関心をもって活動に取り組むことができるよう配慮されている。 - 挿絵や吹き出しの中に、児童が友だちや家族、地域の人たちと双方向的な交流活動が行われている様子が示され、成長してきた自分を実感できるよう配慮されている。 - 県内の学校の実践から生み出された作品や文章が掲載され、写真は実際に活動している児童の様子が写されている。長野県ならではの地域性や季節を感じながら学習できるよう配慮されている。 - 体験を振り返り、その意味をとらえ直しながら、絵や作文、歌、身体表現などの活動や情報の交流ができるように工夫されている。
4 全体的な特色	- 信州での生活に根ざした単元の設定・配列で学びが始まり、広がり、深まるように工夫されている。 - 自らの生活に親しみや自信、郷土愛が感じられる配慮がされている。 - 写真やイラストは身近に感じられる場面が多く、児童が親しみを抱いたり、互いに思いを共有したりできる。（あるある感が満載） - 全体にシンプルな体裁に仕上げることで、児童の想像力を広げ、豊かにするよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書（せいかつ上まいにちあたらしいせいかつ・せいかつ下だいすきみつけた）
1 教科の目標からの配慮 2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	児童の生活圏を学習の対象や場として、身近な人々から社会および自然までを自分との関わりで捉え情操を豊かに育むことができるよう配慮されている。体験を重ねることによる思考の深まりについて重点をおかれた構成がなされている。 (1) 花を育てる活動、自然に触れる活動など、活動のまとまりごとに単元を構成している。児童の発達段階に応じて始める時期や期間を柔軟に設定できるよう配慮されている。 (2) それぞれの単元を「ホップ」・「ステップ」・「ジャンプ」の3段階で構成している。ホップ・ステップでは、児童の生活や経験を活動と結び付ける導入から活動を広め、深めるヒントを掲載している。単元の最後のステップには、活動の振り返り、伝え合う活動を位置づけ、最後まで意欲的に活動できるよう配慮されている。 (3) すべての単元に「どうすればいいのかな？」コーナーが設けられ、視点や活動を広げるヒントを示している。「？」を入れることで、自分たちで考える余地を残し、自ら考えたり、友だちと考え合ったりするきっかけとなっている。 (4) 多彩な活動の気付きやヒントをイラストや写真で掲載し、児童の自主的な活動を後押しするよう配慮されている。 (5) 分かりやすい言葉、意欲を引き出すイラストにより、活動の流れや発展性が示されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 学習指導要領の内容に準拠した内容が、単元のまとまりごとに掲載されている。扱う内容や期間は、児童や地域の実情に応じて柔軟に対応できるように配慮されている。 (2) 「もっとやってみたい」にはさらに学びを広げる資料が収録されている。また生活科の内容を核として、国語や算数・音楽・図工などへの教科横断的な視点も豊富に示されている。 (3) 単元のまとまりごとに掲載することにより、扱う内容や期間に応じて、また児童や地域の実情に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。 (4) あえて地域の特色を色濃く出さず、地域の実情に合わせて工夫しながら活動を作り出せるよう配慮されている。 (5) 指示的な言葉を避け、主人公のつぶやきが単元のねらいに沿って効果的に掲載されている。 (6) 単元のまとめは、伝え合う活動を通して学習を振り返ることができるように構成されている。
4 全体的な特色	子どもの目線から撮影されたダイナミックな写真を掲載することで、心と体が動き出すように工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館（わくわくせいかつ・上：いきいき せいかつ・下）
1 教科の目標からの配慮 2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	児童が、具体的な活動を通して対象と関わりながら、興味関心を持続しさらに活動を広め、深めていけるように工夫され、自らの主体性や良さに気付けるように配慮されている。 (1) スタートカリキュラムを位置付け、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、安心して学校生活が始められるように配慮されている。 (2) 単元は「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、児童の活動が発展し、深まっていくように工夫されている。 (3) まとめのカードや手紙などで思いや気付きを表現する場面が数多く示され、また、児童が楽しんで意欲的に取り組んだことを伝え合う場面が随所にあり、活動を広げたり深めたりできるように配慮されている。 (4) 児童の日常生活から単元が始まるように配慮されている。また、紙面右下のスペースに児童の言葉で次につながる思いが書かれ、それにより児童自身の気づきが喚起され、広がるように工夫されている。 (5) 児童の生き生きした言葉や思わず答えたくなるような問いかけ（吹き出し）などの工夫がある。写真や挿絵なども鮮明で、読み手に多くの情報を与える。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 季節に沿って単元が配列され、他教科との関連を踏まえながら活動が広がり、深まっていくように工夫されている。 (2) 児童の興味や関心が向きやすい活動内容が盛り込まれ、対象と児童自身が積極的・主体的に関われるよう配慮されている。 (3) 児童が発する疑問や気付き、発見の言葉を掲載したり、うまくいかなかった場面のイラストなども盛り込まれたりして、何度も対象と関わる学習活動が成り立つように配慮されている。 (4) 学習カードや観察記録・日記などの具体例を示して児童の気付きを促し、インタビューの様子、グループでの発表の様子などを掲載して、児童の気づきの質を高め、広める工夫をしている。 (5) 大きさや見せ方を工夫した写真やイラストからの情報が、児童の興味関心・意欲を引き出すように工夫されている。 (6) 「できるかな できたかな？」のコーナーでは、学習過程や成果を振り返る児童のつぶやきが書かれていて、自らの成長や学びの深まりを実感することができるように工夫されている。
4 全体的な特色	単元は、児童の日常生活の中の思いや願いから始まり、活動を行うことで児童自身の気づきの質が深まっていくように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（わたしとせいかつ上・下）
1 教科の目標からの配慮	・ 「みつける」「たとえる」「比べる」「試す」「見通す」「工夫する」といった活動を行うきっかけを繰り返し得ることができ、学びを深めることができる構成になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 幼稚園・保育園・認定こども園等の連携を意図して、スタートカリキュラムのページが充実していて、ページの角を丸くして、他ページと区別できるようにしている。遊びを通じた他者との関係作り、学習や集団生活の決まりごとなど、幼児期に修得した内容を示し、新しい環境に対応できるようにしている。 (2) 巻末の「ちえとわざのたからばこ」が充実している。話の伝え方や聴き方、観察の仕方なども掲載されていて、子どもたちが知識や技能を自然に身に付けることができるよう構成されている。 (3) 主体的・対話的な学習活動につながるヒント、そういった学習活動を行っている写真・イラストを効果的に配置している。 (4) 様々な動植物の図鑑が関連する小単元のページにも巻末にも示されていて、点線で折って合わせると同じ植物の成長がわかるページもあり、子どもたちの興味を引く構成になっている。 (5) 文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、色使いなど、教科書紙面においてカラーユニバーサルデザインを取り入れている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 導入→展開→振り返りという単元の基本の流れを明確にし、教師が容易に授業の見通しを持つことができる構成になっている。 (2) どのように資質・能力を育成すべきかがわかるように、小単元の左下に資質・能力の「3つの柱」に即した「学習のめあて」を示している。 (3) 小単元ごと「タイトル」「子どもの言葉」「学習のめあて」を見開きで見やすく配置し、教師が子どもの気づきを引き出すことができるように工夫されている。 (4) 写真の子どもたちが考え、判断し、表現する姿から、教科書を見た子どもは、創意工夫にあふれ、対話に満ちた活動をイメージしやすい。 (5) 発達の段階に合わせた学習カードも適切に例示されていて、子どもにも教師にもわかりやすい教科書になっている。 (6) 見開きページ右下に「学びのまど」が配置され、活動を振り返る内容や、自分自身の生活につなげる活動などをイラストと吹き出しで示し、子どもたちが気づきを深めるとともに、次の課題を持ち、学習意欲が継続できるように工夫されている。
4 全体的な特色	・ 見開きで学習内容がわかりやすく、子どもにとっても生活科を初めて取り組む教師にとってヒントがたくさんあり、授業をつくりやすい教科書になっている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

音 楽

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版「音楽のおくりもの」
1 教科の目標からの配慮	新しい時代を創る子どもたちのための「音楽のおくりもの」として、多種多様な教材や活動が配置され楽しみながら音楽の学習ができるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) ねこの鳴き声のマネをしたり、身体表現をしたりする活動から「おどるこねこ」の鑑賞につなげるなど児童の発達段階に応じた工夫がみられる。 (2) 「学び合う音楽」では、図解で詳しく協働的活動の仕方が提示されている。 (3) 主体的に活動できるように、鍵盤ハーモニカが教科書に実物大の写真で掲載され、使用する音の鍵盤の位置がわかりやく表示されている。また、手の置き方はタブレット等を使用し、WEB リンクで確認することができる。 (4) 幅広い時代や曲趣の教材が各学年に掲載され、表現や楽曲の良さに触れることができるように工夫されている。 (5) 折り込みを使ったワイドの紙面や透明シートが用いられ、視覚的にわかりやすい工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「音楽を形づくっている要素」を中心に領域分野ごと、6年間を通して系統的な題材配置になっている。 (2) 各学年のはじめに「スキルアップ」が配置され、日常的な活動として各題材に関連付けられている。学習をふり返るマークや関連教材が示され、発展的に学習が深まるように工夫されている。 (3) パートの役割を意識しながら話し合いアンサンブルする教材が配置され、主体的・協働的に表現を楽しめるように工夫されている。 (4) 生活や社会の中の音や音楽と豊かに関われるように、日本や世界の多様な音楽に触れられる教材が数多く示されている。 (5) 紙面左上に「学習のめあて」が示され、学び方の手がかりとなる「まなびナビ」が提示されているため児童が主体的に学習内容を捉え、思考・判断・表現しながら学習できる工夫がされている。 (6) 「音楽のもと」が巻末にまとめられ、各学年で学習したことをふり返ることができるように工夫されている。
4 全体的な特色	音楽の見方・考え方を働かせる題材、生活や社会と音楽との関わりを扱う題材、主体的・協働的に表現を楽しむ題材によって構成されており、新学習指導要領における資質・能力と関連付けられている。全体を通して音楽的な知識が豊富に掲載されている。また、ICT機器の活用を意識した編集がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育芸術社（小学生の音楽）
1 教科の目標からの配慮	3つの「つながる」（社会・子どもどうし・学び）をキーワードとして6年間の学習が段階的、系統的に設定されている。学習内容や学習活動が児童の発達段階を配慮した構成になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 共通教材を題材の一つとして扱い、低学年ではわらべうたを中心に、中学年では唱歌を扱うなど、発達段階を配慮した構成になっている。 - 子どもたちの興味・関心にそった身近な音に着目し、少人数で友と関わりながら創作活動に取り組めるような工夫がされている。 - 主体的に活動できるように、音楽科における言語活動に配慮した吹き出しが数多く示されていて、思いや意図をもって主体的に取り組めるよう配慮されている。また、鑑賞では、「感じたこと」「気付いたこと」など聴き方が整理されて教科書に提示されている。 - 鑑賞では、指揮者の違いによる演奏、楽器や声の違いによる演奏を聴き比べる教材が配置され、関心をもちながら楽曲の良さを感受できる。 - 音楽の情景のイメージを助けるカラー写真やユニバーサルデザインに配慮した歌詞の表示がされている。また、裏表紙には、各学年に地域社会とつながる郷土芸能の紹介がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 各題材に複数の領域分野（歌唱・器楽・音づくり・鑑賞）が配置され、6年間を通した系統的な題材構成になっている。 - 題材のねらいが、「音楽を形づくっている要素」を中心に配列されている。幾つかの教材が結び付けられて、内容のふり返り、関連・発展を生かした学習展開の工夫がみられる。 - 学習が進んだ段階での主体的・対話的な学び方のページが教材の次のページ等に表示され、児童の意識を分散させず学ぶべきことに集中できるよう配慮されている。 - 子どもたちが無理なく取り組める音域や難易度に配慮した教材や各地に伝わる郷土芸能が配置されている。また、色覚特性に適応したデザイン等の配慮がされている。 「つながる」をキーワードに編集されており、それが教科書の表紙、吹き出し、学びの地図、さし絵（生活や社会）で表現されている。全体がシンプルにまとめられ、子どもたちにとって見やすい教科書になっている。 「ふり返りのページ」には、音楽を形づくっている要素を中心に学習内容が端的にまとめられている。
4 全体的な特色	複数の領域分野で構成される題材により、主体的・対話的に音楽表現を楽しむ構成がされており、新学習指導要領における資質・能力と関連付けられている。また、道德教育や人権教育に対する配慮、外国語活動との連携、ユニバーサルデザインを意識した編集がされている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

図画工作

開 隆 堂

日 本 文 教 出 版

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	開隆堂（図画工作）
1 教科の目標からの配慮	- 多様な材料を使って表現すること、多様な表現を鑑賞することで表し方の工夫や創造的な表現がしやすいように配慮されている。 - 系統的な題材の配列がされている。低学年ではより多くの題材を掲載することで色や形への関わりができるように、高学年では題材を精選し、発想や感じ方をより深められるように配慮されている。 - 創造的に発想や構想をするために「工夫さん」「ひらめきさん」といったキャラクターによるヒントや視点が配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 基本的な表現方法から発展的な表現方法まで扱っており、用具や材料の工夫の仕方も提示されており、個人差に応じた取り組みができるよう配慮されている。 - リード文が具体的な言葉で示されており、興味・関心がわきやすくなっている。友だちと関わっている写真や、つぶやき、発話を吹き出しにすることで対話的な活動が自然にできるよう配慮されている。 - 多様な表現を図版で示し、その中から自分のイメージに合った表現方法の選択ができるようになっている。表現の工夫を楽しめるようにキャラクター「くふうさん」により工夫の視点を示す配慮もされている。 - 怪我や事故を防止するための観点が必要に応じて題材ごとに簡潔に示されている。「学びの資料」において使用頻度の少ない用具についても細かい所まで写真や箇条書きで安全に使えるようになっている。 - コントラストや彩度を調整してあり、さまざまな作品を紹介するとともに、教科書への注目を促している。素材の形や色が強調することによって、はっきりと見やすくなるように配慮されている
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 基本的な題材の内容が多く、絵や立体などバランスよく配列されている。「資質や能力」と「表現内容」の2視点で題材や素材の発展性が関連付けられており、6年間で発展的に扱えるように配列されている。 - 同じ題材で表現をし、続けて作家の同じ題材の作品を鑑賞するページも設けるなどして表現と鑑賞が同時に学習できるよう配慮されている。 - 表紙のキャッチフレーズが「力を合わせて」というように共同での活動が多く取り入れられており、関わりを大切にする学年の設定があり、話し合いの仕方の例も示すなど配慮されている。 - 準備品（道具・素材）が分かりやすくアイコンで示されている。また、多様な技法が紹介されており、使い方に習熟するためのお試し活動（Let's Try）のコーナーなども用意されている。 - 作品や活動の様子の写真について、部分や全体がわかるものや、多様な表現例を掲載することにより、個に応じて具体的に発想や構想をする時の助けになるよう配慮されている。 - 活動の終末のイメージが図版により具体的に掲載されており、学習活動の見通しがもちやすい。ふりかえりの観点が明示され、活動の満足感・達成感を自己評価しやすい工夫がされている。
4 全体的な特色	- キャラクターが用意され、観点を明確にした学習活動が展開できるよう配慮されている。 - QRコードにより手軽により詳しい表現の方法が扱えるように配慮されている。 - 図画工作の授業の大切さについて保護者に向けたメッセージを掲載している。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（図画工作）
1 教科の目標からの配慮 2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 多様な材料・題材を扱い、造形活動の可能性を広く味わいながら色や形に関わる知識や技術の習得ができるよう配慮されている。 - 題材の展開を、見つけて工夫する形にすることで創造的な発想をしたり見方や感じ方を深めたりすることができるよう配慮されている。 - 題材が生活や地域につながるものとなっており、学びが生活や社会にも生かされるよう配慮されている。 - 偶然の形や見立てによる教材化、自然からの発想など、発達段階の個人差があっても取り組みやすくなるよう十分配慮されている。また、材料や用具等も学年に合ったものが使用できるよう配慮されている。 - リード文の下にめあてが配置されており、導入の視点が明確になっている。共同作品の題材や写真を多用し、キャラクター「ちろたん」により色や形の視点を示すことで対話的な学習活動への配慮がなされている。 - 導入からイメージを膨らませやすい写真を使用している。また、多様な表現例を用意し、使用する素材も個人の興味に応じて選択できるなど、無理なく表現への意欲を促す配慮がされている。 「使ってみよう」では用具の安全な使い方や片づけ方について図示されている。また、全ページに「気をつけよう」の枠があり、簡潔に留意点を明示して安全への配慮ができるよう工夫されている。 - 写真や図表に自然な色合いの写真を使用している。強さに傾くことなく弱い色調の作品も紹介しており、多様な児童が安心して見られるものとなっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	6年間を通して各分野において既習の技能や題材を応用しながらより発展的に技能・知識が習得されるよう、適切な題材の配列がなされている。また、季節に合った題材の配列も考慮されている。 - 全ての題材において見開きページで表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配置されている。自然の要素を鑑賞しながら表現にもそれを使うなど、見ることと表すことを一体的に学習できるよう配慮されている。 - 写真にたくさんの吹き出しをつけ、具体的なつぶやきや発言を示すことにより、相互の関わりを促す配慮がされている。 - 巻末の資料で材料や用具について使い方や表現の技法を分かりやすく紹介している。特に、素材として自然素材を多用しており、児童になじみのある材料も紹介している。 - 様々な作品例により表現の幅広さを示し、創造性を培うよう工夫されている。表現方法の選択性を示し、発想を膨らませるための助けとなる言葉を添えるなど、活動への配慮がされている。 - 題材の目標とそれに対応した評価の観点を全てのページで同位置に配置している。振り返りの活動では作者の感想を統一した付箋のデザインで作品に添えるなど確実にできる工夫がされている。
4 全体的な特色	- キャラクターが用意され、観点を明確にした学習活動が展開できるよう配慮されている。 - 図画工作の授業の大切さについて保護者に向けたメッセージを掲載している。 - 装丁に使われている紙やインクは刺激臭がなく、感覚過敏のある児童に対する配慮も感じられる。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

家 庭

東 京 書 籍

開 隆 堂

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい家庭）
1 教科の目標からの配慮	- 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 - 問題解決的な学習を取り入れ、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 - 生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 衣食住の各題材が5年生と6年生に配置され、基礎的・基本的な知識及び技能が別の題材でも生かせる題材配列になっている。 - 題材の導入で身近な生活の問題を「見つめよう」と提示し、問題解決的な学習を3ステップで配置することで、学んだことを生活に生かせるよう題材が構成されている。 「やってみよう」「深めよう」で児童の活動例が示され、家庭生活を実感的にとらえられるよう十分に配慮されている。 「安全に実習しよう」を巻末に示したり、本文中にマークやチェック欄を用いたりして、安全や衛生への注意が喚起されるよう十分に配慮されている。 - 実物大の作業写真や図の配置、UD教科書体の使用、つめ見出しの工夫で、児童の意欲を高めるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- リンクマークで他教科や中学校との関連が示されるとともに、指導内容の関連を図って題材が構成され、内容を関連させながら学習できるよう十分に配慮されている。 「生活を変えるチャンス！」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事で活用できるよう十分に配慮されている。 - 生活の営みに係る見方・考え方を、「家庭科の窓」として大題材のタイトル横に示し、その視点を基に生活事象を捉えられるよう、題材の取り扱いがなされている。 「話し合おう」「調べよう」で、児童同士で対話できる学習活動が示されており、他者との協働によって考えを深められるよう題材が構成されている。 - 資料の情報量が豊富で、「日々の備え」「日本の伝統」で現代的な教育課題に応じた内容が取り上げられている。 3ステップの中の「ふり返ろう」や実習題材の「できたかな？」で評価の観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- サイズをAB版からA4版にして基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう写真や図表、用語の解説等、情報量が豊富な構成である。 2年間の学習内容を他教科、他学年、中学校での学習に発展させることができるよう、学習内容のつながりが明確に示されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	開隆堂（わたしたちの家庭科）
1 教科の目標からの配慮	- 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう十分に配慮されている。 - 問題解決型学習を取り入れ、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。 - 生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 衣食住の各題材が5年生と6年生に配置され、スモールステップで基礎・基本を身に付けられるよう系統的な配列になっている。 - 各題材は全て問題解決のプロセスに沿った3つの小題材で構成され、導入で身近な生活の問題を「なぜ・どのように～するのだろう」と提示し、学んだことを生活に生かせるよう大変良く工夫されている。 「やってみよう」や各題材の最後の「生活に生かそう」で児童の活動例が示され、家庭生活を実感的にとらえられるよう十分に配慮されている。 「安全に実習をしよう」を巻頭に示したり、本文中にマークやチェック欄を用いたりして、安全や衛生への注意が喚起されるよう配慮されている。 - コンパクトな教科書サイズで見開きの紙面構成が工夫され、文書の読みやすさ・見やすさ、コントラストが鮮明であり、児童の意欲を高めるよう十分に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 関連マーク・赤矢印で他教科や他題材とのつながりが示され、指導内容を関連させながら学習できるよう工夫されている。また、巻末で小学校と中学校との学習のつながりがわかるよう配慮されている。 「チャレンジコーナー」「レッツトライ」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事で活用できるよう配慮されている。 - 生活の営みに係る見方・考え方を「4つの視点」として目次に示し、4つの視点の意識を継続しながら生活事象を捉えられるよう題材の取り扱いが十分に配慮されている。 「考えよう」「調べよう」「話し合おう」で授業の中で効果的に活用できる小課題を設け、学習内容を生活に結びつけ、他者との協働によって考えを深められるよう題材が大変良く構成されている。 - 児童の実態に応じた資料が過不足なく掲載され、防災マーク、「生活の中のプログラミング」「持続可能な社会を生きる」で現代的な教育課題に応じた内容が適切に取り上げられている。 - 各題材に「学習のめあて」と「できたかな」のチェック欄が示され、まとめや評価の観点が明確になるよう大変良く工夫されている。
4 全体的な特色	- 生活の営みに係る見方・考え方を常に身近に働かせられるよう四つ葉のクローバーを有効に使い、生活から課題を発見し、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力が身につくよう十分に配慮されている。 - 見開きの紙面構成、ユニバーサルデザインに基づいた紙面設計、学習に必要な資料が過不足なく掲載され、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けられるよう十分に配慮されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

体育(保健)

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

文 教 社

光 文 書 院

学研教育みらい

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	東京書籍（新しい保健）
1 教科の目標からの配慮	生活経験や生活環境を基に課題を見つけ、自分の考えを表現したり、友だちと考え合ったりして追究できるように構成されている。また、課題解決の中で、保健の見方・考え方を働かせながら、児童が思考・判断・解決していくことができるように記述欄を設けている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1時間の学習内容を4ページで構成し、児童が思考・判断・解決していくことができるように、記述欄を広く設けている。 - 身近な生活場面や自己の生活の振り返りをもとに学習課題を導き、自己を重ねながら調べ学習や話し合い活動を経て課題解決に向けて学習を進めることができるようになっている。 - 学校だけでなく、家庭や地域社会においても生涯にわたり運動に親しむ、食への関心を高める、安全に配慮するなど、健康の保持増進を図っていくことができるようそれぞれの関連性を重視した構成になっている。 - 視認性のよい書体を活用し、文字の大きさにも変化がつけられており、文節改行が取り入れられている。 - 大きな写真・多くの写真やイラストが見やすく配置されていたり、追究方法別にマークが示されていたりする。凡例を明確に示した図柄を掲載して色彩も鮮やかである。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学習指導要領のねらいに即して系統的な順序に配慮し、内容が網羅できるように構成されている。 - 第4学年で「体の成長とわたし」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱い、つながりを意識して学習することができるようになっている。 1時間の学習過程が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されている。導入場面の「気づく・見つける」活動を通して、健康についての本時の学習課題が位置づくようになっている。 - 学習の「発展」として、がんの原因が生活習慣以外にも存在することを記載している。 - 関心を高める写真やイラスト、思考の根拠となる図表等が適切に示されている。 - 各単元の終わりに「学習をふり返ろう」のページを設けて、記号による自己評価をするとともに「もっと知りたい、もっと調べたい」を記述する欄が設けられ、単元の学習を振り返るとともに、更に学びを広げることができるようになっている。
4 全体的な特色	ワークシート的に活用できるように構成してあり、授業経験の少ない教師や、授業準備に十分な時間を確保できにくい際にも、記載内容に添って学習課題が位置づき、調べ学習や話し合い活動を経て自己評価に至るという授業展開ができる教科書となっている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大日本図書（たのしい保健）
1 教科の目標からの配慮	生活経験や生活環境を基に課題を見つけ、自分の考えを表現したり、友だちと考え合ったりして追究できるように構成されている。また、課題解決の中で、保健の見方・考え方を働かせながら、児童が思考・判断・解決していくことができるように記述欄を設けている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1時間の学習内容を見開き2ページにまとめ、3・4年ではチェックやシールを活用する、5・6年では記述の欄を設けるなどしている。 - 大単元の導入で、日常の生活場面のイラストから健康・安全を視点に課題意識をもてるようにし、「やってみよう」「話し合ってみよう」などの活動を位置づけている。 - 学校だけでなく、家庭や地域社会においても生涯にわたり運動に親しむ、食への関心を高める、安全に配慮するなど、健康の保持増進を図っていくことができるようそれぞれの関連性を重視した構成になっている。 - 視認性のよい書体を活用し、文字の大きさにも変化がつけられており、文節改行が取り入れられている。 - イラストが見やすく配置されていたり、追究方法別にマークが示されていたりする。凡例を明確に示した図柄を掲載している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学習指導要領のねらいに即して系統的な順序に配慮し、内容が網羅できるように構成されている。 - 第4学年で「育ちゆく体とわたし」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱い、つながりを意識して学習することができるようになっている。 1時間の学習過程が「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」のステップで構成されている。健康についての本時の学習課題が冒頭に示されている。 - 巻末に中学校で学ぶ内容としてがんが発症した家族の支え合いについて発展的内容として取り上げている。 - 関心を高める写真やイラスト、思考の根拠となる図表等が適切に示されている。 - 各単元の終わりに「〇年のまとめ」のページを設けて、記号による自己評価をするとともに「学んだことを活用しよう」「学んだことを深めよう」を記述する欄が設けられ、単元の学習を振り返るとともに、更に学びを広げることができるようになっている。
全体的な特色	記載内容から適切な発問を設けたり、他教科・領域で身につけた児童の学びにかかわる経験を活かしたりすることにより学習課題が位置づき、調べ学習や話し合い活動を経て自己評価に至るまで、教師の指導力や補助の学習シートの準備により授業の流れを作ることのできる教科書となっている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	文教社（わたしたちの保健）
1 教科の目標からの配慮	生活経験や生活環境を基に課題を見つけ、自分の考えを表現したり、友だちと考え合ったりして追究できるように構成されている。また、課題解決の中で、保健の見方・考え方を働かせながら、児童が思考・判断・解決していくことができるように記述欄を設けている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1時間の学習内容に応じて、それぞれ2・3・4ページ構成にしたり、「広げよう深めよう」という発展ページを設けたりしている。 - 単元のはじめで、生活場面をイメージしたイラストを基に、自分の生活を振り返り、課題を明らかにして各時間の学習につながる構成になっている。 - 学校だけでなく、家庭や地域社会においても生涯にわたり運動に親しむ、食への関心を高める、安全に配慮するなど、健康の保持増進を図っていくことができるようそれぞれの関連性を重視した構成になっている。 - 視認性のよい書体を活用し、文字の大きさにも変化がつけられている。 - イラストが見やすく配置されていたり、追究方法別にマークが示されていたりする。凡例を明確に示した図柄を掲載してある。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学習指導要領のねらいに即して系統的な順序に配慮し、内容が網羅できるように構成されている。 - 第4学年で「体の発育・発達」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱い、つながりを意識して学習することができるようになっている。 1時間の学習過程が「ふり返ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」のステップで構成されている。健康についての本時の学習課題が冒頭に示されている。 「性的少数者」に寄り添うことの大切さについて、5年「心の健康」の発展的な内容として記載している。 - 関心を高める写真やイラスト、思考の根拠となる図表等が適切に示されている。 - 各単元の終わりに「わたしの〇〇宣言」のページを設けて、例示を参考にしながら自己の宣言文を記述することにより、単元の学習を振り返るとともに、実践につなげるきっかけづくりとなっている。
4 全体的な特色	毎時の学習のまとめが色囲い内に記述されているため、終末を意識した授業の展開がしやすく、大単元の終末に盛り込んだ「宣言ページ」により学習内容の定着を確かめることができる教科書となっている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	光文書院（小学保健）
1 教科の目標からの配慮	生活経験や生活環境を基に課題を見つけ、自分の考えを表現したり、友だちと考え合ったりして追究できるように構成されている。また、課題解決の中で、保健の見方・考え方を働かせながら、児童が思考・判断・解決していくことができるように記述欄を設けている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1時間の学習内容を見開きにまとめ、必要に応じて4ページ構成にしたり「広げよう深めよう」という発展ページを設けたりしている。3・4年生に比べ、5・6年生の記述欄を増やしている。 - 身近な生活場面や自己の生活の振り返りにより学習課題を導き、自分の考えをもちながら調べ学習や話し合い活動をとおして課題解決に向けた学習を進めることができるようになっている。発問の意図が明確で、子どもの興味関心を高めたり、子どもが根拠をもって答えたりできる問いになっている。 - 学校だけでなく、家庭や地域社会においても生涯にわたり運動に親しむ、食への関心を高める、安全に配慮するなど、健康の保持増進を図っていくことができるようそれぞれの関連性を重視した構成になっている。 - 視認性のよい書体を活用し、文字の大きさにも変化がつけられている。 - 多くの写真やイラストに統一感があり見やすく配置されている。また、追究方法別にマークが示されている。凡例を明確に示した図柄を掲載して色彩も鮮やかである。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学習指導要領のねらいに即して系統的な順序に配慮し、内容が網羅できるように構成されている。 - 第4学年で「体の発育と健康」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱い、つながりを意識して学習することができるようになっている。 - 本時の学習課題が冒頭に示されており、「話し合おう」「学んだことを生かそう」が明記されていて、自分の考えもち、それを他者に伝えたり説明したりする活動が数多く設定されている。 - 性的少数者について4年「思春期の体の変化」の単元で、またがんの予防や早期発見の必要性について5年「生活習慣の予防」の単元で、それぞれ発展的内容として記載されている。 - 関心を高める写真やイラスト、思考の根拠となる図表等が適切に示されている。 - 各単元の終わりに「学習のまとめ」のページを設けて、選択肢による穴埋めや丸つけにより、知識・理解の定着ができるようになっている。また、学習してきたことを自分の生活に活かしていけるような振り返りを設けている。
4 全体的な特色	導入場面の身近な生活場面や自己の生活の振り返りを活用して関心を高めることにより学習課題が位置づくようにしたり、子どもが自分の考えをもって話し合い活動をできるようにしたりしている。そのため、児童の意識を大切にして学習ができる教科書となっている。発問が吟味されており、子どもの興味関心や追究意欲を高める問いになっている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学研教育みらい（みんなの保健）
1 教科の目標からの配慮	生活経験や生活環境を基に課題を見つけ、自分の考えを表現したり、友だちと考え合ったりして追究できるように構成されている。また、課題解決の中で、保健の見方・考え方を働かせながら、児童が思考・判断・解決していくことができるように記述欄を設けている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1時間の学習内容を見開き2ページにまとめ、3～4年ではチェック欄を設ける、5～6年では「実習」ページを設けるなど学年に応じた構成にしている。 - 身近な生活場面や自己の生活の振り返りにより学習課題を導き、調べ学習や話し合い活動を経て課題解決に向けて学習を進めることができるようになっている。 - 学校だけでなく、家庭や地域社会においても生涯にわたり運動に親しむ、食への関心を高める、安全に配慮するなど、健康の保持増進を図っていくことができるようそれぞれの関連性を重視した構成になっている。 - 視認性のよい書体を活用し、文字の大きさにも変化がつけられている。 - 写真やイラストが見やすく配置されていたり、追究方法別にマークが示されていたりする。凡例を明確に示した図柄を掲載して色彩も鮮やかである。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学習指導要領のねらいに即して系統的な順序に配慮し、内容が網羅できるように構成されている。 - 第4学年で「体の発育・発達」を学習することを考慮し、第5学年では「心の健康」を最初に扱い、つながりを意識して学習することができるようになっている。 1時間の学習過程が「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の3つのステップで構成されている。「つかむ」活動をとおして、健康についての本時の学習課題が位置づくようになっている。 - がんの危険性について、長期の喫煙をとりあげ、「がん発生の理由」「がんの予防」等についてQ&Aで記載している。 - 関心を高める写真やイラスト、思考の根拠となる図表等が適切に示されている。 - 各単元の終わりに「ふり返る・深める・つなげる」のページを設けて、チェックによる自己評価をするとともに「学びを深める」「明日につなげる」を記述する欄が設けられ、単元の学習を振り返るとともに、更に学びを広げることができるようになっている。
4 全体的な特色	導入場面の身近な生活場面や自己の生活の振り返りを活用して関心を高めることにより学習課題が位置づき、調べ学習や話し合い活動を経て自己評価に至るという授業展開ができる教科書となっている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

外国語

東 京 書 籍

開 隆 堂

学 校 図 書

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍 (NEW HORIZON Elementary English Course 5,6, Picture Dictionary)
1 教科の目標からの配慮	- 各单元において「聞く」「話す」活動から「読む」「書く」活動へ学習が展開され、コミュニケーションにおける知識・技能を習得できるよう配慮されている。 - 自分の考えや気持ちを伝え合う力を養うために、書く活動では教科書を単に写すのではなく、自分のことについて書くことが出来るよう工夫されている。 - 他教科との関連を図ったり、文化に対する気づきを深めたりする場面を配置し、主体的に学ぶことが出来るよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 音声から文字への流れを重視し、外国語活動で慣れ親しんだ表現から毎時間少しずつ積み上げていけるよう、配慮されている。 「Enjoy Communication」では、巻末にあるカードを使い友だちと交換しながら、やりとりする活動が設けられており、児童が場面を把握しやすく、自分の思いを伝え合えるようよく工夫されている。 - 巻頭には、英語が出来るようになったらどんなことが出来るのかを、写真とともに示してあり、児童の学習意欲を高められるように配慮されている。 - 各ページに「Small Talk」がついており、既習のフレーズを使って聞いて話す活動ができるように工夫されている。 - 他国の特徴的な写真をたくさん用いたり、世界で活躍する日本人を扱ったりして、児童の興味を引き意欲が高められるよう適切に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 高学年の2年間で、自分、地域、日本、世界というように、児童の身近から視野を広げるように単元構成が適切になされている。 2～3単元ごとに「Check Your Steps」でまとめの活動をし、それまでの学習を振り返りながら、自分で英語を選んだり組み合わせたりしながら自己表現できるよう配慮されている。 - 各単元の「Let's try」では、児童にとって身近な話題について尋ね合う場面が設定され、児童の主体的なやりとりを生み出せるよう工夫されている。 - 具体物を用いた、実際のコミュニケーションに近い場面設定が適切に配列されている。 - 単元の始まり「Starting Out」では、5年生ではイラスト、6年生では写真が提示され聞く活動から始まっている。児童を引きつけ、話題に入りやすくなるよう適切に工夫されている。 - 単元の終わりには話す活動が取り入れられ、単元の目標となっている英語を使い伝え合うことを通して、まとめとなるように工夫されている。
4 全体的な特色	5年生では「日本」、6年生では「世界」をテーマとし、身近からスタートして視野をどんどん広げ、日本のことも世界のことも見つめ直せる構成になっている。 - 小学校で扱う語や表現がジャンル別に別冊「Picture Dictionary」にまとめられており、本体と組み合わせて使うことができる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	開隆堂（Junior Sunshine5・6）
1 教科の目標からの配慮	- 単元の前半では聞く活動やチャンツを通して、語彙や表現に慣れ親しみ、後半では友だちとやり取りや発表する活動を通して、4技能をバランス良く身につけることができる。 - 言語活動の目的や場面が児童の生活に身近であり、自分の考えや気持ちを伝え合う活動がどの単元にも配置されている。 - 協働的・対話的なペアワーク・グループワークが多く取り入れられ、友達と主体的にコミュニケーションをとれるようになっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 中学年の外国語活動で慣れ親しんだ語句や表現を多く取り入れ、発達段階に応じた児童に身近な語句や表現が適切な分量で配置されている。 (2) 各単元に慣れ親しんだ語彙や表現を使って、お互いの考えや気持ちをやり取りする活動や発表する活動が取り入れられている。 (3) 四季の行事や実際の生活場面に即した単元が配置され、児童が自分の考えを伝える場面が多く設定され、主体的・対話的な学習につながるように工夫されている。 (4) 単元で慣れ親しんだ語彙や表現を使うコミュニケーション活動が取り入れられている。巻末に「読んで書く活動」が配置されている。 (5) シンプルなイラストやさし絵、異文化を伝える写真、統一された見やすい英字のフォント等、どの子も理解できるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 中学年の外国語活動で慣れ親しんだ語彙や表現をもとに、児童の1年間の生活に即した単元配列となっている。 (2) 聞く活動から慣れ親しんだ語彙や表現を話したり、書いたりするように配置されている。 (3) 基本的な表現や語彙を使うためのペアやグループワークが多く取り入れられ、友達と関わりながら主体的に学べるように工夫されている。 (4) 児童にとって身近な場面や状況が設定され、必要感のあるコミュニケーション活動が適切に配置されている。 (5) 各単元には、単元の活動を見通すことができるイラストが取り入れられ、異文化を紹介する写真も多く取り入れられている。 (6) 各単元を振り返る「CAN-DO マップ」が巻頭に配置されている。各単元の最後にも指導要領に対応した三観点が示され、児童が自ら自己評価できるようよく工夫されている。
4 全体的な特色	- ペアワークやグループワークが多く配置されているので、児童の主体的な学習を促しやすい。 - 巻末に、聞く・読む・書く技能を補完する教材が配置されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	学校図書（JUNIOR TOTAL ENGLISH 1・2）
1 教科の目標からの配慮	- 各単元は聞くことから始まり、次に音声に慣れ親しむ活動へ、さらに書くことややりとりの活動が配列され、4技能5領域の力がバランスよく伸ばせるようよく工夫されている。 - 自分のことや身近なことを題材に、言い方や内容を自らが考えて伝え合うことができるよう場面の配置が適切にされている。 - 児童の興味が身の回りから世界に移ることを踏まえ、英語を通して世界や社会の営みを知る機会となるよう、題材が工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 各単元の最初に「レッスンの目標」と「学習の進め方」が示されており、児童と教師が学習の見通しを共有できるようよく工夫されている。 - 話題シラバスや場面シラバスによる学習を通して、実際に活用される状況と表現が合致するよう適切に配慮されている。 - 児童が自分の考えや感じ方と対比できる問いがあり、主体的に活動が展開されるよう工夫されている。また、「Sounds&Letters」では、音と綴りの関係に自然に気づけるよう、配慮されている。 - 教科書の冒頭にクラスルーム・イングリッシュと既習事項をまとめた「Pre-Lesson」と、単元の間に「Word Corner」が配置されており、学習した表現を確認し、振り返ることができるよう配慮されている。 - 大判 A4 サイズの教科書で、行間や配置に余裕がある。授業の流れに沿ったレイアウトであり、教科書の構成を見るだけで単元の見通しがもてるようよく工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	「Let's Listen」では、ターゲットセンテンスを繰り返し聞くように聞いた回数を記録する欄が作られている。語順や英語独特のリズムと発音に関する気づきが促されるよう工夫されている。 - 各単元の「Small Talk」で話す活動をし慣れ親しんだ児童が、自分の思い出や地域の話題などを伝え合う「Project Time」が年2回配置されている。友と協働的に学び、思いや考えをよりよく伝える表現を主体的に追究できるよう大変工夫されている。 - 単元のまとめとして4技能5領域の力を総合的に使う「Use & Check」が配置されており、語や絵を参考にしながらインプットとアウトプットの活動が関連し合いながら進んでいくよう工夫されている。 - 当該単元で扱われた表現が出てくる単元終盤の「Shaggy's Story」では、物語を聞き、文を読むことを通して、場面や内容を推察しながら、語と音声の関係に気づくようよく配慮されている。 - 各単元の最初にある見開きのイラストには、状況や場面が丁寧に説明されており、聞き取りの観点や注目する表現を児童が理解しやすくなるよう適切に配慮されている。 - 単元末の「Check Time」では意欲や態度、慣れ親しみや気づき、ついた力などを自己評価できるとともに、学習に関する記述欄が設けられており、学びの軌跡を児童と教師が共有できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	- 文学や算数、理科に関する話題も扱われ、高学年の児童が知的好奇心をもって英語学習を進めていくことができるようよく工夫されている。 - 各単元で到達したい目標が示され、気づきを大事にしながら15分単位で4技能5領域を生かした活動ができる構成になっており、児童が集中して学習ができるようよく配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	三省堂（CROWN Jr. ⑤・⑥）
1 教科の目標からの配慮	・ 聞く活動から他の活動へ広がるよう、4技能5領域が育成できるよう配慮されている。 ・ 目的や場面、状況が明確で、慣れ親しんだ既習表現を用いて自分の気持ちや考えなどを伝え合う言語活動ができるように配慮されている。 ・ 巻頭で会話で使える表現や会話を続ける工夫などが扱われ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 外国語活動で慣れ親しんだ表現・語彙から始まり、発達段階に応じた題材や言語活動等に工夫されている。 (2) 「話す」「聞く」の活動で積み重ねてきたことを元に、実際のコミュニケーションの場面で自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が展開されるよう適切に工夫されている。 (3) 児童が選んだ言語材料を使ったペアやグループワークでの学びを多く取り入れ、主体的・対話的な学習を促すように工夫されている。 (4) 十分な「聞く」活動の後、「話す」「読む」「書く」活動の順で学習が進み、最後に発表の「Presentation」活動を行い、4技能5領域を関連づけた学習ができるよう配慮されている。 (5) 挿絵や写真は場面をわかりやすくし、活動の内容を理解しやすく、学習意欲が高まるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 年間3ユニットで構成され、各ユニットでは「HOP」「STEP」「JUMP」で段階的に構成されている。「JUMP」での発表に向けて各「Lesson」が配置されており、目標や見通しを持たせるよう工夫されている。 (2) 言語材料は主体的に活動できるよう配慮されている。 (3) 「STEP」の各「Lesson」には簡単なやりとりの活動が設定されており、児童が互いにに関わりながら学習できるよう配慮されている。 (4) 「JUMP」では発表の手順が細かく示されており、児童が目的や場面を理解し見通しを持って活動ができるよう適切に配慮されている。 (5) 場面や挿絵は活動の内容や場面や表現などを推測できるように工夫されている。 (6) 「HOP」で単元の目標を立て、「JUMP」で2段階の振り返りを行ったり、巻末の「CAN-DO リスト」を活用したりすることで、自己評価が行えるよう分かりやすく工夫されている。
4 全体的な特色	・ 巻末にはことばや文化を調べられるように「Words&Phrases」が掲載され、理解や表現を助けるように工夫されている。 ・ 単元は発達段階に応じた場面設定になっている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（ONE WORLD Smiles 5, 6）
1 教科の目標からの配慮	・ 聞く活動からやりとりや発表などの言語活動へと、段階を追って4技能5領域の力を身に付けられるよう配慮されている。 ・ 言語活動の目的がはっきりと示されており、学習を生かしてふさわしい表現を選び自分の気持ちや考えを表せるよう工夫されている。 ・ 友だちと互いの考えや気持ちを聞き合ったり、伝え合ったりする活動を通して、学習への意欲が高まるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 単元の始めに単元のめあてが示され、それに向けて活動が配置されており児童がゴールを意識して学習できるよう配慮されている。 (2) 誰に何を伝えるのかが明確に示されており言語活動への関心・意欲が高まるよう配慮されている。 (3) 実際に活躍している有名人やスポーツ選手を扱ったり、外国人に伝えるという場面を設定したりするなど児童の興味や関心、学習意欲を喚起し、主体的に学びを促すよう工夫されている。 (4) 単元のゴールである言語活動に向けて、「聞く」活動から「話す」「読む」「書く」活動が順に配置され、5領域を関連付けた学習ができるよう工夫されている。 (5) 単元の冒頭のページでは紙面全体に絵を用い、多くの情報のやりとりができるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の始めに見開きページで最終目標を見通せるよう、映像や活動が工夫されている。 (2) 最後の活動で何をするのかが明確であるため、どのような言語材料を学習すればよいか分かりやすい。それらを児童が徐々に身に付けられるよう工夫されている。 (3) 教科書で扱う言語材料は基本的なものに絞られており、児童に習熟によってより発展的な表現の学習や活動が行えるよう配慮されている。 (4) 各単元の最後の言語活動では、場面が分かりやすく設定されており、相手意識をもってコミュニケーションができるよう工夫されている。 (5) 巻末に絵カード、ワークシート、シールなどがついており、児童の理解を助けスムーズに学習を行えるよう工夫されている。 (6) 単元の終わりやワークシートにふりかえりの欄があり、目指す姿を意識しながら指導したり学習したりできるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・ 各単元の始まりに最後に行う活動が示されており、目標や見通しが持ちやすいよう工夫されている。 ・ 6年生の最後の単元では、中学校でやりたいことが題材となっており、小学校での学習の成果を感じるとともに、中学校生活への期待がもてるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書（Here We Go!⑤⑥）
1 教科の目標からの配慮	- 各単元冒頭の「Hop!」に学習のめあてを「Goal」として示し、各単元でできるようになることがよく分かるよう大変適切に配慮されている。 - コミュニケーションをするための適切なやりとりの仕方などが具体的に示され、主体的にやりとりできるように構成がよく工夫されている。 - 友だちとのやりとりや発表などの活動が、「Let's try」や「You can do it!」で他者と関わりながら協働して進められるようによく工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	1時間の授業が見開きページで構成され学習の見通しが非常に持ちやすい。単元の展開も段階を踏んでおり大変丁寧である。 「Hop!」「Step1」「Step2」「Jump!」の4段階で単元を構成し、「Jump!」でお互いの考えや気持ちを伝えあう言語活動ができるようよく工夫されている。 - 最初に登場人物の紹介があり、同じ人物が継続して登場することで、児童が理解しやすいよう配慮されている。「World Tour」では世界の小学生の生の声に触れ、児童が対話しながら主体的に自分の考えを伝えあう活動ができるよう配慮されている。 - 中学年で慣れ親しんだ表現が使用場面を変えて学習できるように大変よく工夫されている。単元は聞く活動で始まり、「Step」では「Let's watch」「Let's listen」「Let's chant」「Let's play」「Let's try」「Let's write」と「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の順に学習に取り組めるように大変適切に配慮されている。 - 教科書の中で使用されているフォントがローマ字表を含め統一されている。手書き文字に近いもので、児童が理解しやすいようよく配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 単元のスタートの「Story」で場面設定を確認し、単元に出てくる会話の内容を類推しやすいよう工夫がなされている。基礎的な内容から、発展した内容に学習できるよう配慮されている。 「Hop」では聞く活動を中心に場面を理解し、「Step」で言語材料を理解したり、練習したりして、段階的に取り組めるよう大変よく配慮されている。 - 各単元で学ぶ言語材料が焦点化され、やりとりや発表を通して、相互に関わり合いながら取り組めるよう大変適切に配慮されている。 - 言語活動を行う際に、学校、家庭、地域、買い物などの使用場面が明確に示され、相手意識を育てるために「相づち response」などの言語の働きを用いるなど大変よく工夫されている。 - 文化を学ぶための「World Tour」では写真が多く用いられている。またイラストは淡色で見やすくなっており、児童が理解しやすいよう適切に配慮されている。 - 単元の始めには「Goal」として単元目標が示され、見通しを持って指導できるよう適切に工夫されている。さらに巻頭には「CAN・DO」が示され、できるようになることが領域ごとに表記され、評価の観点が明確になるように大変よく工夫されている。
4 全体的な特色	- 巻末に単元ごとの単語一覧を絵入りで示した「絵辞典」が設けられ、導入場面や単元ごとの単語の語彙がわかりやすくなるようよく工夫がされている。 - 単元目標に向かって4技能5領域の活動が、「Hop」「Step1」「Step 2」「Jump」で段階を追って設定されており、児童が主体的に取り組めるような大変配慮された構成となっている。 - 巻末の絵カードには冠詞の a と the がカードに書き込まれ、言語材料に併せて使用できるようよく工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館（Blue Sky elementary 5,6）
1 教科の目標からの配慮	・ 聞くことから他技能へと、4技能5領域に関わる活動がバランスよく位置づけられ、学習内容を段階的に活用する工夫がされている。 ・ 外国人との関わりで起こりうる場面を単元に取り入れ、コミュニケーションに現実味を持たせている。 ・ 各単元の最後に世界の文化が示され、多様な文化にふれ、学習意欲が高まるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 各単元の始めには目標が示され、その後の Part 1～3 では、めあてと活動が示されている。各 Part は「Listen＋○○」から始まり、活動が簡潔にまとめられている。 (2) 各 Part や単元の最後に「Activity」が設定され、学習内容を用いて自分の考えや気持ちを伝え合えるように内容が配置されている。 (3) 日常生活に関わる題材を採用し、児童が考えやすく、やり取りしたいと感じながら、主体的・対話的な学びとなる工夫がされている。 (4) 英語を聞いたりチャンツで歌ったりして、音声や言語材料に慣れ親しんだ後、やりとりや発表、「Let's read and write」という構成になっており、4技能5領域を関連づけた学習サイクルが確立されている。 (5) 挿し絵や写真が見やすくレイアウトされており、意味をとらえ理解の助けとなるように工夫されている。また、UD書体、淡色を中心とした挿し絵、継続して登場する人物と、児童の理解に配慮している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「Listen」「Jingle」「Chant」「Listen and say」または「Activity」と、聞くから話すまで、一連の活動の流れを単元ごとに設定し、基礎的な内容から発展的な学習につながるように配列が工夫されている。 (2) 次の単元に既習事項が活用できるように言語材料が配列されている。また、チャンツのリズムに合わせて言語材料を練習できるよう、配慮されている。 (3) 言語材料は精選され、「Activity」では自分の考えを伝え合ったり、ペアで役割を決め実際の場面を想定した会話をしたりして、関わり合いながら学習ができるように工夫されている。短時間学習対応の活動には、モジュールマークが付けられている。 (4) 年3回の「Review」では、これまでに学んだ表現や単語を振り返ったり、「思考力・判断力」を問うための質問が『思』のマークで示されたりしている。 (5) 挿し絵や写真、図表は、活動する際の視覚的な手助けとなり、目標やめあてが達成されるよう配慮されている。 (6) 単元末には「Looking Back」が設定され、目標に対する振り返りと習得した表現を使いたい場面を考えることができるようになっている。1年間でできるようになったことが分かるように、巻末には「Can-Do List」が示されている。
4 全体的な特色	・ 見開きページで学習の流れが明確になっており、活動がパターン化され簡潔にまとめられている。 ・ 外国の写真や絵で興味をもたせたり、目標やめあてを載せて意識をさせたりしながら、主体的に学習が進むように配慮されている。また、書き込み式を取り入れ、学習の軌跡が分かるように工夫されている。

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

道 徳

東 京 書 籍

学 校 図 書

教 育 出 版

光 村 図 書

日 本 文 教 出 版

光 文 書 院

学研教育みらい

廣 済 堂 あ か つ き

令 和 元 年 度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい道徳）
1 教科の目標からの配慮	・ 内容理解を促す発問と、自己の生き方を考える発問が用意されており、児童自らが道徳的価値と向き合えるよう工夫されている。 ・ 問題解決的な学習を配置し、その中で児童の問いを立ち上げる発問や他者との関わりで考えられる発問を示し、多様な価値観を引き出したり自己の生き方について考えを深めたりするよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 多様な教材が発達段階に合わせて配置されている。目次には学習の手引き「しるしの意味」を示し、児童が見通しを持った学習ができるよう配慮されている。 (2) 「つながる・広がる」では、児童の興味・関心が深まるよう、十分に配慮されている。 (3) 発達段階に合わせた人間関係の築き方が示され、実際に関わり合う活動で、道徳的価値が深められるよう工夫されている。 (4) 「問題を見つけて考える」では、児童が自ら他者と関わりながら考えることができるよう工夫されている。 (5) 分かりにくい特別な言葉には、適宜脚注で説明を設け、児童が内容を理解しやすくなるよう配慮されている。教材中の人物が、相手を呼ぶ際には「さん」を付け、人権教育の視点からも配慮されている。 (6) 発問を線で囲み、改行位置を工夫することで、考える視点について着目できるよう十分配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 「いじめのない世界へ」や「問題を見つけて考える」など、いじめ対策や問題解決的な学習の教材が重点に置かれ、教材で学んだことをもとに、道徳的価値の自覚が深められるよう工夫されている。 (2) 話し合い活動を促す教材を巻頭に見開きで配置し、授業の始めに道徳授業での話し合いの仕方や追求のあり方について指導できるように工夫されている。 (3) 現代の課題といえるいじめ問題や情報モラルなどの教材を配置し、特にいじめ問題については、「とびらページ」で問いを立ち上げられるようにし、複数教材で考えられるよう大変工夫されている。 (4) 巻末に折り込みとして多数の写真が用意され、児童が日常生活ではなかなか見られない内容も多く配置することで、視覚的な理解や他教科との関わりに生かすことができるよう配慮されている。 (5) 児童一人ひとりが、自己の学びの様子を振り返ることができる「学習のふり返し」があり、自己の生き方について考え、実感できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ ユニバーサルデザインに対応し、行間が広がっていたり送りがなや用語の説明が記されていたりして、児童たちが資料を理解しやすいよう工夫されている。 ・ 多様な学習が進められるように教材が配置され、児童と教師が問題を共有して追求できるよう、発問が精選されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（かがやけみらい）
1 教科の目標からの配慮	「きづき」（読み物）と「まなび」（発問）の2部構成になっている。児童の実態に応じて、使い分けることができるよう配慮されている。 「まなび」では、視点ごとに教材がまとめられており、その内容の学びを大きくくりに見取ことができ、内容ごとの振り返りや自他の評価ができるよう工夫されている。 「まなび」の中で資料を考える発問と自己の生き方を見つめる発問の2つを適切に設定し、道徳的価値に迫り、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 児童の発達段階に合わせた資料が設定されており、さし絵の表情や登場人物のセリフ、状況を説明する言葉が分かりやすく、心情を考えることができる資料を多く取り入れるよう配慮されている。 「きづき」に教材文のみが掲載されており、先入観なく教材に向き合い、自分なりの課題をもてるよう大変工夫されている。 「まなび」には、「自分の考え」と「友だちの考え」の記述欄があり、他者との対話を通して学びを深める工夫がなされている。 「まなび」には、内容項目ごとに導入や終末などで活用できる「こころのパレット」が掲載されており、道徳的価値を自己との関わりで多面的・多角的に考えられるよう十分配慮されている。 「きづき」は、資料のみの扱いで、読み物以外の文字がほとんどなく、また、発達段階に応じた字の大きさや行間、一行の文字数で見やすさ、読みやすさが配慮されている。 「きづき」「まなび」とともにページごとに写真やイラストが入っており、内容理解に役立つよう大きさや配置に工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 各学年の発達段階において重点化されている内容項目について、児童の興味・関心を促せるような新聞記事や漫画など多様な読み物教材を複数、配置するよう配慮されている。 「きづき」本文には、内容項目、主題、発問がなく、児童の気づきや実態に合わせて活用しながら、多様な授業づくりがしやすいよう大変工夫されている。 - 情報モラル、キャリア教育、いじめ対応などを全学年で扱い、特にいじめに関連する教材にはマークを記し複数教材で考えられるよう配慮されている。 - 教材の展開ごとに、写真やイラストが変化し、主人公の心情や内容が理解しやすいよう工夫されている。 「まなび」には、内容項目ごとに教材が見開きでまとめられており、学習状況やそれぞれの視点についての児童の育ちを、記述内容を基にとらえられるよう大変工夫されている。
4 全体的な特色	- 読み物の「きづき」と発問の「まなび」の2冊で構成されており、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮されている。 「きづき」では4つの視点を色とマークで示し、「まなび」では3つの発問マークを配し学習内容と活動が端的にわかるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（はばたこう明日へ）
1 教科の目標からの配慮	- 先哲の生き方から、自己の生き方について考えを深める学習ができるよう、教材配列が工夫されている。 - 役割演技や動作化の活動を示し、感じた思いを伝え合うことで、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるよう十分な配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 日本社会の発展に貢献した先人や偉人、アスリートなどの教材の配列が児童の発達段階に応じて配置され、大変工夫されている。 - 動作化や役割演技などの活動の方法を、吹き出しとイラストで示すことで、児童が学習する際に考えやすく取り組みやすくなるよう配慮されている。 「考えよう・深めよう」で、教材の理解を深める発問と問題解決的な発問の2つによる学習活動を位置づけ、児童が主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。 - 文末を完結型にしない資料を取り入れて話し合いを促したり、モラルスキルトレーニングを取り入れたりとすることで、児童が多面的・多角的に考えるきっかけがつかめるよう配慮されている。 - 文字は少し太めの教科書体が使用され、行間にゆとりを持たせることで、視覚性を高めるよう配慮されている。 - さし絵や写真を大きくしたり、さし絵の色彩やタッチを変えたりするなど、教材の内容や特徴に合うように大変工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 低学年では身近に感じる物語教材、高学年では国際理解や先人たちの生き方を取り上げた実話教材を盛り込み、発達段階に応じた教材の配列が工夫されている。 「やってみよう」を提示し、動作化や役割演技をしたり、自分だったらどうするかを考えたりする体験的な活動を促すことで、他者と関わり合いながら学習に取り組めるよう配慮されている。 - いじめ問題や生命尊重、情報モラルなどの教材が発達段階に応じて配置され、役割演技や話し合いを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 - さし絵や写真の主人公や登場人物の表情を細やかに表現し、そこから人物の心情や気持ちの変化が想像できるよう工夫されている。 - 巻末の「学びの記録」と「一年間の道徳の学習をふり返ろう」を利用し、学期末や年度末に記録をすることで、児童の学びや成長が把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- 本時で捉えるべき価値の方向が最初に示されていることで、ねらいにむけて追求しやすく配慮されている。 - 道徳的な行為に関する体験的な学習を取り入れ、児童が自ら考え、話し合いを通して考えを深められるよう工夫されている。 - 先人たちの生き方を取り上げた教材を読むことで、生き方への共感や憧れを抱き、よりよく生きることの素晴らしさを実感できるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書（きみがいちばんひかるとき）
1 教科の目標からの配慮	- 内容項目の関連に配慮し教材が配列されていて、1時間1時間の学びの積み重ねにより考えが多面的・多角的に深まり、児童の確かな道徳性が育まれるよう十分な配慮がなされている。 - 一年間を3つのまとまりに分け、視点ABCの指導の重点化が図れるように構成されている。まとまりごとに児童が自身の成長を実感でき、自己肯定感を高めることができるよう大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 該当学年で起こりそうな問題や悩みを教材として取りあげ、児童が自分との関わりで道徳的価値を深められるよう十分に配慮されている。 - 漫画や大きなさし絵、本物の美しさを表現した写真など、魅力的な資料を取り入れることにより、児童が主体的に道徳的価値の追求ができるよう工夫されている。 「考えよう・話し合おう」では、めあてに沿った3つの発問が適切に用意され、主体的・対話的に学べるよう十分に配慮されている。 - 問題解決的な考えを促す問いを配し、「演じて考えよう」をはじめ役割演技を通して多面的・多角的に考えが深められるよう大変工夫されている。 - 紙面の幅を広げ文字やさし絵を大きくし、ユニバーサルデザインの観点からも誰もが読みやすい教材にと配慮されている。 - ダイナミックで美しい見開き写真や絵を提示し、内容理解を妨げない柔らかな色調の紙面にと工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 年間を3つのまとまりに分け、該当学年児童のそれぞれの時期に考えさせたいテーマを目次に示し関連教材を配置している。また、現代的な課題を連続して扱う等、教材の配列が大変工夫されている。 - 教材末の「学習のてびき」には「つなげよう」が設けられ、他教科や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるような図書の紹介などがあり、計画的・発展的な指導ができるよう工夫されている。 - 複数の教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を位置づけ、コラムでいじめや情報モラル等の現代的な課題を豊富に取りあげ、児童が多面的・多角的に考えを深める場を設定できるよう大変配慮されている。 - 真実を伝える写真資料、学習内容の理解を助けるさし絵、グラフ等が適所に配置され、読み物資料だけでなく道徳的価値の追求に迫れるよう配慮されている。 「学びの記録」が3つのまとまりごとに設けられ、発達段階に応じた記録ができ、児童・教師の双方がこれまでの学びを振り返り、成長が実感できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- 複数の道徳的価値が含まれた「なんだろう なんだろう」で多面的・多角的に考えたり、「心を通わそう」での体験的な学習を通し、相手とのよりよい人間関係づくりを学べたりできるよう十分に配慮されている。 - 児童が自分の問題として道徳的価値を捉えられるように、身近な資料を扱ったり発問が吟味されたりしている。また、各教材のまとまりや連続性も意図され、問題解決的・体験的な学習が展開できるよう大変工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（生きる力）
1 教科の目標からの配慮	「道徳のとびら」は、発達段階に応じた表現で内容項目が示され、児童が学習の意義を理解し、見通しをもち学べるよう工夫されている。 - 問題解決的・体験的な学習など様々な学び方が示されており、多面的・多角的に考えられるよう大変工夫されている。 「見つめよう・生かそう」で自分との関わりで考える発問が示され、よりよい生き方について考えを深められるよう大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	「道徳ノート」が別冊で付き、文字が未習得の1年生も印や色をぬる方法で学びを振り返られるよう大変工夫されている。 - 地域別教材、著名人の直筆資料があり、児童が教材中の人やことを身近に感じ、興味や関心をもって学べるよう工夫されている。 「考えてみよう」では中心発問を1つに絞って提示し、道徳的価値につきじっくりと考え合うことができるよう工夫されている。 「学習のてびき」を配置し、話し合ったり役割演技をしたりする場を設けることで、ねらう道徳的価値や自分の生き方につき考えを深められる学習展開ができるよう大変工夫されている。 「学習の手引き」「心のベンチ」のページは見開きで項目・内容毎にレイアウトされ学習内容が一目で理解できるよう大変工夫されている。 - 当該学年以上の漢字には全て振り仮名をつけ、さし絵や写真が大きくコントラストが鮮明で分かりやすく、ユニバーサルデザインの観点に立った編集やデザインが配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 先哲の生き方、物語、詩、漫画など、児童の発達段階や興味関心に応じた教材が多種多様に用意されていて、児童が教材に浸り込み、主体的に学習することができるよう工夫されている。 - どの学年にも補助教材が用意され、地域や学校、児童の実態に応じ、代替・補充し指導することができるよう配慮されている。 - 現代的・社会的課題である「いじめの防止」「情報モラル」などのテーマを重視し編集されている。特に「いじめの防止」については複数の教材を1つのまとまりにすることで、学級の状況に応じ集中して学習できるよう大変工夫されている。 - 写真や絵図が見開き一面で扱われ、迫力があり美しく内容に引き込まれる。また、印象的な場面がアップにされ、内容理解を補える配慮がなされている。 「道徳ノート」が別冊で付き、主発問と自由に記述できる欄が用意されていて、児童の学習状況や道徳性に係わる成長の様子を把握できるよう大変工夫されている。
4 全体的な特色	「学習の手引き」では、問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材を扱い、特別活動等における多様な実践活動を生かした学習ができるよう工夫されている。 - 身近な問題や悩み等を扱いそれを多面的・多角的に考えられる教材が多く、道徳的価値を自分との関わりで深められるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光文書院（小学校道徳 ゆたかな心）
1 教科の目標からの配慮	- 教材の冒頭に主題に関わる発問が示されており、児童が問題意識を明確にしながら、追求できるよう配慮されている。 - ページの下部に、キャラクターによる様々な投げかけがあり、物事を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 - 終末の発問で、道徳的価値を深く考え、学んだことを自分との関わりの中でとらえ、発展させることができるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 教材 40 の他に「コラム」「みんなでやってみよう」「情報モラル」「ことばのたからもの」「オリンピックパラリンピック」（3 年以上）が設けられ、教材と関連させながら、学べるよう配慮されている。 「導入」で児童の経験を想起させたり、主題に関わる問題意識をもたせたりして、「発問」「まとめ」につなげられるよう大変工夫されている。 「道徳はこんな時間です」を設け、「どのようなことをどのように学ぶか」を明らかにし、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がなされている。 - 全学年に「やってみよう」が発達段階に応じて設置されており、コミュニケーション能力を高め、より良い人間関係の構築のためのグループワークができるように配慮されている。 1～3 学年までの教材に出てくる漢字すべてにふりがながふってあったり、難しい言葉は注釈がついていたりするなど、教材の読み取りにかかる負担を減らす工夫がなされている。 - 登場人物が教材の最初にイラストで表示されており、教材の内容がとらえやすくなるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	- 学年の重点教材は、マークをつけ、中表紙に大きく発問を示し、複数の教材を続けて学習できるよう配慮されている。 - 実話をもとにした教材、コミック形式の教材、児童に身近な話題など多様な教材を発達段階に応じて各学年 40 配置し、弾力的に取り扱えるよう十分配慮されている。 - 全学年にコラム「みんな仲よし楽しい学校」を児童が親しみやすいキャラクターで設置し、多様な価値観を引き出せるように発問が工夫されている。 - 児童が興味・関心をもちながら、内容理解や登場人物の心情理解がしやすいように、さし絵や写真のレイアウトや大きさ・配色にも配慮がなされている。 - 巻末の「学びの足あと」では、授業後の心の動きや学びを短時間で書ける記号や顔マーク・ひとこと欄が設けられ、それを継続して記していくことで、児童が自らの成長を実感できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- キャラクターが、気づきや考えるポイント、考えを広めるための見方などを投げかけることで、児童が多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 - 家庭での出来事や地域との交流を描いた題材が多く、学習したことが日常につながるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	学研教育みらい（新・みんなの道徳）
1 教科の目標からの配慮	- 教材の冒頭に主題を記載しないことで、特定の価値観を押しつけることなく、児童が主体的に考えを深められるよう工夫されている。 - つなげ、広め、深め、やってみようという特設ページで、多面的・多角的な考え方に触れ、多様な学習形態で追求できるよう工夫されている。 2 学年ごとに重点テーマを設け、発達段階に応じて自己の考えを振り返ることができるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	- 異なる複数の意見を提示したり、話し合いの形態を例示したりするなど、発達段階に応じて学習が進められるよう工夫されている。 - 児童が興味・関心を持ちやすい教材や印象的なさし絵、写真を掲載しており、教材の冒頭に主題を記載しないことで児童の問いを持てるよう工夫されている。 - 役割演技、グループでの話し合い活動があり、自分の生活や経験と結びつけて道徳的価値を考えられるよう工夫されている。 - 教材末の「考えよう」では児童が考えを深め、多様な思いを引き出せる発問があり、多面的・多角的に考えることができるよう配慮されている。 - A 4 版の教材でさし絵や写真も多く、見開きページ右上に4つの視点がマークで示されており、何について学ぶのか、把握しやすく配慮されている。 - 実物大写真が使用され、QRコードにより写真が見られたり音が聞こえたり、教材をより身近に感じて学習できるよう、大変工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	2 学年ごとに、発達段階を考慮した重点テーマが設けられていたり、年間を通じた学びについて示したりして、見通しを持った指導が行えるよう配慮されている。 - 情報モラルについて学習するページや家の人にメッセージを書きってもらうページがあり、道徳的価値について多面的・多角的に考えることができ、教育活動全般に学びが深まるよう配慮されている。 - 全学年でいのちを最重点テーマに掲げ、複数の教材で学習できるように教材を配置し、生命尊重・人権の尊重について、様々な側面から考える場が設定できるよう配慮されている。 - 見開きで実物大写真が掲載されており、児童がイメージを持ちやすく、学びたくなる気持ちを引き出せるよう大変工夫されている。 - 教科書の始めに「自分のことを書いてみよう」終わりに「心の宝物」を記入するページを設け、児童の変容と成長を自他ともに把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- 主題を明示しない、多様な価値観を表出できる発問、リアリティーのある教材を盛り込むことなど、児童が主体的に道徳的価値を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 - 最重点テーマをいのちとし、2 学年ごとに単元的な学習を仕組み、様々な側面から考えられるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	廣済堂あかつき（小学生の道徳）
1 教科の目標からの配慮	・ 学習の手がかりとなる「学習の道すじ」を示し、児童が自己を見つめ、道徳的価値について考えを深められるよう配慮されている。 ・ 関連書籍や格言、調べ学習へと学習を広げる発問があり、多面的・多角的に道徳的価値をとらえられるよう工夫されている。 ・ 別冊「道徳ノート」を用いて、書くことを通して道徳的価値の自覚を深められるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 文章の長さや発問の質・量について、一単位時間内で追求できるよう、発達段階に応じた配慮がされている。 (2) 自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤・心の揺れなど人間らしさが理解できる教材などがあり、道徳的価値をさらに深められるよう工夫されている。 (3) 「学習の道すじ」として、めあてと発問が示されており、見通しをもって主体的・対話的に学習できるよう大変工夫されている。 (4) 「考えよう 話し合おう」が配置されており、話し合うことで他者の考えに触れ、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 (5) 本冊、別冊ともにA B版で、紙面にゆとりがあり、文字の大きさや分量は発達段階に応じて配慮されている。 (6) ユニバーサルデザインに対応した、淡い色合いのさし絵を採用し、児童が教材に集中できるよう大変配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 児童の発達段階に合う、長く読み継がれてきた読み物教材や現在も活躍している人物教材を各学年適切に配列する工夫がなされている。 (2) 別冊「道徳ノート」を用いることで、他教科や学校行事など、児童の体験や各教科との関連の機会に応じて、発展的な授業構成を創意工夫できる配慮が十分なされている。 (3) いじめや情報モラルなどの現代的な課題に関わる教材が発達段階に応じて配置されており、身近な問題として考えることで、多様な価値観を引き出すことができるよう工夫されている。 (4) さし絵は色合いが柔らかく、内容理解を行う妨げにならないよう配慮されており、写真の大きさも具体的なイメージがもてるように適切な大きさとなるよう十分配慮されている。 (5) 別冊「道徳ノート」に、1年間の「学習の記録」を累積していくことで、児童、保護者が読み返し学習状況を振り返るとともに、児童の変容と成長を自他ともに捉えられるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ 本冊では主体的な学びになるよう学習のめあてを示し、話し合いや発展的な学習を取り入れることで、多面的・多角的に道徳的価値の理解ができるよう工夫されている。 ・ 別冊では児童が自分の思いを記録し、自分を見つめ考えることができるよう配慮され、本冊との相乗効果で道徳的価値の理解を一層深められるよう大変工夫されている。